Kawai Musical Instruments Manufacturing Co., Ltd.
Environmental and Social Report 2017

環境社会報告書 2017

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

雨ニモマケズ、風ニモマケズ

2017 年 5 月 13 日（土） 仙台市で海岸防災林植樹実施

カワイの森育成会は仙台森林管理署で進めています、海岸防災林復活のための植樹を実施しました。今回は仙台市の東、海岸近くの荒浜地区が実施場所となりました。

カワイの音楽教室・体育教室の生徒さんとその父母を中心に、カワイ仙台支店の社員の方々にご協力をいただき、宮城県森林インストラクター協会の指導の下、総勢90名で700本のクロマツの苗木を植樹しました。

あいにくの天気の中ではありましたが、参加応募いただいた方の欠席が少なく、行事内容は短縮いたしましたが、メインの植樹は、元気に楽しく完遂することができました。現地ではにぎやかな子どたちの声と温かい父母の声が飛び交いました。

今回で3回目となる東北復興活動の一環で行われる本植樹活動ですが、改めて東北の方の活力を感じました。

本植樹活動は、東北森林管理局・宮城県内の森林管理署を中心に、継続実施検討されているようです。今後も見守ってまいりたいと考えます。

編集方針

内　容

カワイグループにおける環境活動側面に加え2003年度からはコンプライアンス等社会的側面を掲載し、企業における社会的責任の視点を充実させ2004年度版からタイトルも「環境報告書」から「環境社会報告書」に変更いたしました。

なお、経済側面につきましては、概要を5ページに記載しました。

カワイグループの事業内容の詳細はウェブサイトをご参照願います。

対　象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・ＮＧＯ、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2017 年版について

出来得る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、皆様にカワイグループの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。

事業活動にともなう環境配慮につきまして環境側面ごとにまとめました。また、関連資料は資料編にまとめました。

報告対象期間

2016年度（2016年4月～ 2017年3月）を主体としていますが、一部重要な事項につきましては2017年4月以降の最新情報を含んでいます。

集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

報告対象組織

- ㈱ 河合楽器製作所　本社 / 竜洋工場
- カワイ精密金属 ㈱
- ㈱ カワイキャスティング
- ㈱ カワイハイパーウッド
- ㈱ カワイ音響システム

目　次

はじめに

トップメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

企業概要

カワイグループの事業と会社の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
経営の理念・行動指針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
カワイグループのあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
音楽を通じた支援活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

環境報告

カワイの環境への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織・・・・・・・・・・・・・・・9
環境経営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
2016年度の環境目標と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
事業活動に伴う環境配慮・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
地球温暖化の防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
製品の環境負荷（LCA）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
廃棄物削減・再資源化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
グリーン調達・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
環境配慮型製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵・・・・・・・・・・15
省電力型デジタルピアノ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
カワイ防音ルーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
環境パフォーマンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
マテリアルバランス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

社会性報告

コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス・・・・・・・・・・・19
コーポレート・ガバナンス　体制/内部統制システム・・・・・・・・20
リスク管理体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
株主・投資家の皆様とともに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
みなさまとの関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
文化貢献活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
教育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
カワイ健康づくりシステム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
スポーツコミュニティ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
コミュニケーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
地域社会との共生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
地域社会との交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

資料編

環境負荷サイト別一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

第三者意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33

アンケートのお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

トップメッセージ

代表取締役会長兼社長

河合弘隆

中期経営計画

当社は中期経営計画「Resonate 2018」（第90期～第92期）の2年目、第91期（2017年4月～ 2018年3月）を迎えました。おりしも2017年は弊社創立90周年にあたります。

何が起こっても不思議でない、予測が難しい「不確実な時代」を我々は生きています。今まで頼ってきたものの見直し、あるいは破壊、再構築といった形で新しい芽が生まれてくるかもしれませんが、いつ起こるのかは予想がつかず、覚悟して日々緊張感を持って過ごしています。

本年1月アメリカ新大統領にドナルド・トランプ氏が就任しましたが、「アメリカ・ファースト」を政策の前面にうたい物議を醸しています。今後の動向にも一番の注目が集まる所でしょう。また、イギリスのEUからの離脱、北朝鮮の核の問題、ISの活動と世界にはさまざまな問題が継続して山積する中、日々起こる事象に振り回されることなく、長期的なスパンに立って物事を判断して行かなくてはならないと考えます。

環境への取組み

自動車業界では、その社会的な責任を果たすべく、ハイブリッド、クリーンディーゼルを初めとしてプラグイン、燃料電池車などに進化し続けています。自動運転も加わり今後は安全も含めて革新的に進化していくことでしょう。多くの企業が、地球温暖化、エネルギー、資源問題などの地球規模の課題に直面するなかで、カワイグループは、限りある資源を後世に残すことが大切な責務と認識し、持続可能な社会の実現、地球環境の保全に向けて積極的に取り組んでまいりました。

1997年にピアノ生産部門である竜洋工場で、楽器業界では世界で初めて環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得しました。以後、「カワイ地球環境憲章」と「環境方針」のもと、国内外の生産拠点に環境マネジメントシステムを導入してまいりました。2016年も国内1拠点で環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得しました。今後もグローバルに環境マネジメントの取組を強化してまいります。

2017 年 会社創立 90 周年

創業間もない頃の「河合楽器研究所」（昭和 2 年）

社会的責任

2007年の創業80周年の記念事業の一つとしてインドネシアにおいてスタートした植林活動は、現在でも継続しており樹木として大きく育ってきています。また、循環型社会形成のためにピアノの再生利用などの活動にも継続して取り組んでおります。これらが持続性のある、より良い地球環境を安定的に供給してくれるものと信じております。

さらに、日本国内においても活動を始め、2011年より東日本大震災の被災地支援のためチャリティーコンサートを開催し、2015年からは被災地の海岸防災林の再生支援のための植樹活動を、カワイの森育成会とともに継続実施しております。まだまだ現地の復興は先が見えない状況ですが、人々の思いが風化しないように、このような活動は、継続して行かなければと考えております。

100 年ブランドの確立を目指して

カワイグループは創立以来90年に渡ってピアノを通じて、たくさんの感動をお客様にお届けしてまいりました。「不確実な時代」にあっても、美しい音楽を耳にしたときの感動、初めてピアノを手にしたときの喜び、弾けなかった曲が初めて弾けたときの満足感など、世界中の人々が感じる思いは時代を超え不変であると考えます。

その「思い」とともに、祖業であり経営の原点であるピアノづくりを軸として「100年ブランドの確立」を目指しております。今その目標の頂きが見える状況になってきました。最終の10年を一歩一歩踏み進めていきます。

創立90周年の節目に『Shigeru Kawai国際ピアノコンクール』を創設いたしました。第1回目の本年は世界25カ国327名のピアニストが参加、8月に横浜でファイナルを迎えます。次世代を担うピアニストを世界各地から発掘・育成するとともに、国際交流の推進や世界の音楽文化の振興を推進する役割を果たしてまいります。

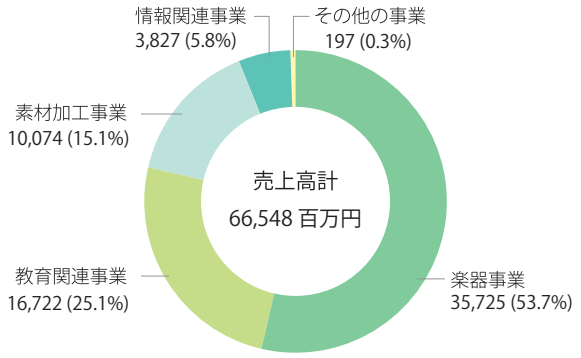
カワイグループの環境・社会面の活動を本報告書にまとめました。是非ご一読いただき、弊社の考え方や活動にご支援と忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

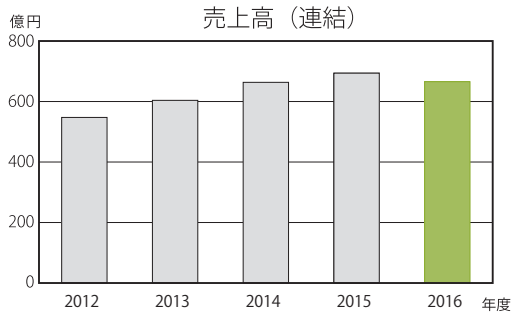
企業概要
カワイグループの事業と会社の概要

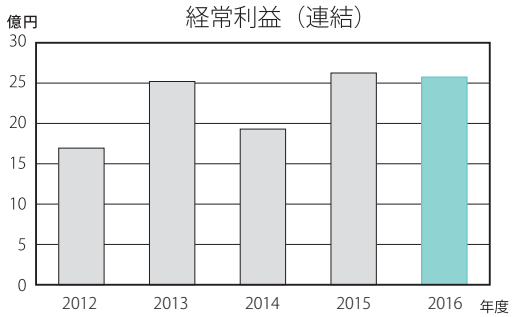
社　名	株式会社河合楽器製作所
本　社	静岡県浜松市中区寺島町200番地
創　立	1927年（昭和 2年）8月 9日
設　立	1951年（昭和26年）5月15日
代表者	代表取締役会長兼社長　河合弘隆
資本金	7,122,881千円（2017年3月末現在）

年　度		2014	2015	2016
売上高（百万円）	単独	49,059	49,654	48,095
	連結	66,342	69,258	66,548
従業員数（名）	単独	1,374	1,340	1,293
	連結	2,895	2,868	2,833

事業セグメント別の売り上げ構成（2016 年度連結）
単位：百万円







カワイグループの主な事業

楽器事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務

- 国内での販売
  ㈱河合楽器製作所
  ㈱全音楽譜出版社　他
- 海外での販売
  カワイアメリカコーポレーション
  カワイヨーロッパ GmbH
  カワイカナダミュージック Ltd.
  カワイオーストラリア PTY.Ltd.
  ミディミュージックセンター Inc.
  PT. カワイミュージックインドネシア
  河合貿易 (上海) 有限公司
  カワイ UK Ltd.
  カワイピアノ・ロシア
  海外販売代理店及び商社
- 楽器の調律・修理
  ㈱河合楽器製作所 国内統括部
- 楽器の国内での製造
  ㈱河合楽器製作所 竜洋工場
  ㈱全音楽譜出版社
- 楽器の海外での製造
  PT. カワイインドネシア
  河合楽器 (寧波) 有限公司、上海カワイ電子有限公司
- その他
  ㈱カワイ友の会

教育関連事業

音楽教室・体育教室の運営、教材販売、楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売

- 国内　㈱河合楽器製作所
  ㈱全音楽譜出版社
- 海外　PT. カワイミュージックスクールインドネシア

素材加工事業

電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、銑鉄鋳物の製造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売

- 金属異形圧延加工品の製造　カワイ精密金属㈱
- 自動車部品用材料の製造　㈱カワイハイパーウッド
- 銑鉄鋳物の製造及び販売　㈱カワイキャスティング
- 防音室・音響部材の製造及び販売　㈱カワイ音響システム

情報関連事業

- ＩＴ機器の販売・保守及びコンピュータソフトウェアの開発・販売
  ㈱カワイビジネスソフトウエア

その他

- 金融関連事業、保険代理店事業　他
  ㈱カワイアシスト
  ㈱カワイ旅行センター

経営の理念・行動指針

創業以来、私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてまいりました。社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の生活文化に貢献してゆくために、カワイは下に記します経営理念及び行動指針に則り、企業活動を推進してまいります。

経営の理念・行動指針

経営の基本的な考え方と方向性

カワイの原点は音楽 …
社会貢献

顧客志向性 …
企業倫理

新しい時代への対応 …
持続社会

闊達な企業風土の創造 …
社会的責任

創業以来私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきた。

社会や産業の構造が大きく変化する中で、私たちがより幅広く人々の生活文化に貢献してゆくため、また新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、ここに新経営の理念を制定するものである。

経営の理念

創造性豊かな好感度企業を目ざして

快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切にし、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう
豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう
自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

KAWAI
1996年 4月 1日制定

カワイグループ全体の活動の根底をなすもの

積極果敢

自己の向上

挑　戦

地球環境保護活動

継　続

カワイグループのあゆみ

事業沿革

1927 河合小市 河合楽器研究所を創立　ピアノの製造・販売を開始
1929 河合楽器製作所と改称
1935 合名会社河合楽器製作所と改組
1951 株式会社河合楽器製作所と改組
1955 河合滋 社長に就任
1956 カワイ音楽教室を創設
1961 ピアノ組立工場として舞阪工場完成
1963 アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立
1966 カワイ音楽教室中央講師養成所（カワイ音楽学園）を創設
1967 カワイ体育教室を創設
1976 西ドイツにカワイドイチュランド GmbH を設立
1979 西ドイツにカワイヨーロッパ GmbH を設立
1980 金属圧延加工のカワイ精密金属㈱ を設立
　グランドピアノ専門工場として竜洋工場完成
1981 オーストラリアにカワイオーストラリア PTY.Ltd. 設立
1984 ㈱カワイビジネスソフトウエア設立
1988 アメリカにミディミュージックセンター Inc. を設立
1989 河合弘隆 社長に就任
1991 マレーシアにカワイアジアマニュファクチュアリング SDN.BHD を設立
1996 新経営の理念、行動指針制定
1997 カワイ精密金属㈱ 浜松事業所 ISO9002 認証取得
1998 ㈱ カワイハイパーウッド設立
1999 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」発売
2001 インドネシアに PT. カワイインドネシアを設立
　最高級フルコンサートピアノ「SK-EX」完成
2002 中国に河合貿易 (上海) 有限公司を設立
　カワイ倫理規範、倫理行動規準制定
2003 カワイ精密金属㈱浜松事業所 ISO9001 認証取得
2004 カワイ精密金属㈱ ISO9001 認証を全社に拡大
　中国に河合楽器 (寧波) 有限公司を設立
2005 竜洋工場 ISO9001 認証取得
2006 アコースティックピアノの塗装を行う PT. カワイインドネシア第 2 工場設置
　旗艦店「カワイ表参道」リニューアルオープン
2007 電子楽器組立を行う PT. カワイインドネシア第 3 工場設置
　中国上海市内にカワイ音楽教室第 1 号教室開設
2008 河合楽器 (寧波) 有限公司 ISO9001 認証取得
　PT. カワイインドネシア第 3 工場 ISO9001 認証取得
2009 国内ピアノ生産工程を竜洋工場に統合
　PT. カワイインドネシア第 1・第 2 工場 ISO9001 認証取得
　カワイ精密金属㈱浜松工場の建物増設
2011 インドネシアに PT. カワイミュージックインドネシアを設立
2012 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」モデルチェンジ
　フルコンサートグランドピアノ「ＥＸ - Ｌ」発売
　中国に上海カワイ電子有限公司を設立
　石川県羽咋市に㈱カワイキャスティング設立
2013 グランドピアノ GX シリーズ発売
2014 アップライトピアノ新 K シリーズ発売　㈱全音楽譜出版社を子会社化
　ロシア モスクワ市にカワイピアノ・ロシアを設立
2015 ㈱学研ホールディングスと業務提携
　米国テキサス州ヒューストンに海外直営ショップ第 1 号店をオープン
2016 中国楽器協会と「ピアノ調律事業に関する基本合意」を締結
　米国テキサス州ダラスに海外直営ショップ第 2 号仮店舗をオープン

環境社会活動

1975 生産技術部内に公害課設置　カワイの環境元年
1978 生産本部 環境管理課に改めグループ全体の管理をスタート
1980『森の中の緑の工房』竜洋工場完成
1994 地球環境憲章制定 シンボルマーク決定
　全社的な推進組織の地球環境委員会発足
1996 環境推進室 に名称変更
1997 竜洋工場で ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初
　舞阪工場「静岡県労働基準局長 優良賞」受賞
1998 舞阪工場で ISO14001 認証取得
　竜洋工場「エネルギー管理優良工場」として中部通商産業局長表彰
2001 タイプⅢ環境ラベル「製品環境宣言」JEMAI 開示
　舞阪工場「危険物優良事業所」表彰
2003 工場統廃合によるインフラの整備
　木屑ボイラーの廃止
2005 竜洋工場が緑化優良工場として日本緑化センター会長奨励賞 受賞
2006 河合楽器が静岡県緑化推進協会から「緑の募金」の感謝状
　木材調達ガイドラインの開示
2007 ㈱ カワイハイパーウッドでエコアクション 21 認証取得
　「カワイの森」インドネシア植林事業開始
2008 産業廃棄物適正処理推進功労者に対する静岡県知事褒賞 受賞
2010 メルヘン楽器㈱ でエコアクション 21 認証取得
　河合弘隆社長ポーランド共和国コマンドール十字勲章授与
2011 PT. カワイインドネシア第 1・第 2 工場で ISO14001 認証取得
　CS 環境室に名称変更
2012 カワイ精密金属㈱でエコアクション 21 認証取得
　河合楽器 (寧波) 有限公司で ISO14001 認証取得
2013 JR 浜松駅前看板を LED 方式による、カーボンオフセットサインとして 25 年振りに一新
　はままつ広告景観賞かんばん部門受賞
　「カワイの森」インドネシア植林 第 2 期植林活動開始 (2013 ～ 2017)
2015 カワイ精密金属㈱で ISO14001 認証取得
　東北復興支援「カワイの森」東松島市で植樹活動開始（2015 ～）
　浜松市防潮堤植栽活動開始（2015 ～）
2016 カワイハイパーウッドで ISO14001 認証取得
　カワイ音響システムで ISO14001 自己適合宣言

1920 1950 1970 1980 1990 2000 2010

公害防止　環境保全　環境経営

音楽を通じた支援活動

カワイグループでは、楽器メーカーとして
音楽や楽器を通じて、様々な支援活動に取り組んでいます

東日本大震災の被災地への継続的支援活動

被災地植樹支援チャリティーコンサート 2017

東日本大震災から6年が経ちました。現地では、まだまだハード面での復興が継続しています。さらに、心の復興には時間がかかりメンタルケアーも継続していかなければなりません。

カワイグループは、震災後継続して音楽を通じた支援活動をしています。2017年も3月11日に、仙台・東京・横浜・名古屋・大阪の5会場で同時に『東日本大震災 被災地植樹支援チャリティーコンサート2017』を開催いたしました。それぞれの地元にご縁のある、第一線でご活躍されている演奏者の方々にご協力をいただき、すべての会場で大盛況に終了することができました。演奏に先立ち黙祷が捧げられ、さらに各会場とも演奏者自ら募金活動に参加していただき、音楽を通じて被災地を励ますことに加えて大きな力となっていただけました。阪神大震災を経験して自分のことのように悲しんでおられる方も大勢いらっしゃいました。

さらに、2017年2月4日に子会社であるカワイハイパーウッドで「ふれあいコンサート」が開催され、合わせて被災地植樹支援募金活動を行っていただけました。今回も「音楽を通した支援活動」で、みなさまから温かいお気持ちが届きました。音楽の素晴らしさを再認識できたコンサートとなりました。

皆様からお預かりいたしました寄付金とコンサートの収益金はカワイの森育成会を通じて被災地仙台の海岸林植樹に役立たせていただきました。カワイグループは、今後も音楽を通じて被災地の方々の心に届く復興支援活動を継続してまいります。

被災地の海岸防災林再生支援のための「カワイの森」植樹活動

2017 年 5 月 13 日（土）　宮城県仙台市荒浜地区での植樹活動

海岸防災林再生のための「カワイの森」は、東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生をめざす林野庁の「『みどりのきずな』再生プロジェクト」に参画した活動で、本年は仙台森林管理署とカワイの森育成会とが協定を締結して植栽から保育までを 継続的に取り組む復興支援活動となりました。

今回の植樹会は3月11日に全国5か所同時開催の「被災地植樹支援チャリティーコンサート2017」をはじめさまざまな方々から「音楽を通した支援活動」でお寄せいただきました寄付金と収益金、カワイの森育成会の会費をもとに実施されました。

植樹会当日には、宮城県内のカワイ音楽教室・カワイ体育教室の生徒さんや保護者の皆さん、仙台森林管理署の方々、約90名にご参加いただき、700 本のクロマツの苗木を植樹しました。あいにくの天候で、今回は昨年に続きクラフト教室はできませんでしたが完成品をお持ち帰りいただきました。風雨の強い中ではありましたが、欠席される方が少なく、安全にも配慮して実施ができました。東北の力強さと、みんなで植樹活動に繋がっていると感じました。日常では経験できない素晴らしい体験の機会になったと思います。

また、3月2日、3月3日には、2015年2016年に植樹した東松島市矢本地区・浜市地区の「カワイの森」を訪ねました。ほぼ順調にクロマツが生育している状況も確認し、引き続き海岸防災林再生支援活動が継続していることを実感しました。

2017年　荒浜

2015年　矢本

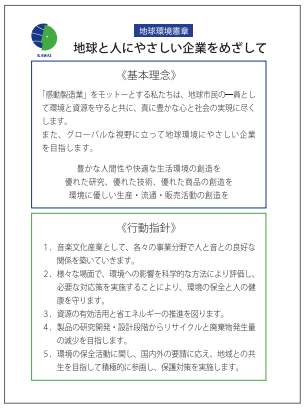
2016年　浜市

環境報告
カワイの環境への取り組み

カワイ地球環境憲章に定める基本理念と行動指針に基づいて環境保全活動を展開しています

地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織

地球環境憲章


地球環境憲章

地球と人にやさしい企業をめざして

《基本理念》

「感動製造業」をモットーとする私たちは、地球市民の一員として環境と資源を守ると共に、真に豊かな心と社会の実現に尽くします。
また、グローバルな視野に立って地球環境にやさしい企業を目指します。

豊かな人間性や快適な生活環境の創造を
優れた研究、優れた技術、優れた商品の創造を
環境に優しい生産・流通・販売活動の創造を

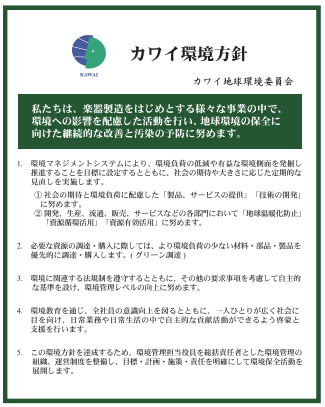
《行動指針》

1. 音楽文化産業として、各々の事業分野で人と音との良好な関係を築いていきます。
2. 様々な場面で、環境への影響を科学的な方法により評価し、必要な対応策を実施することにより、環境の保全と人の健康を守ります。
3. 資源の有効活用と省エネルギーの推進を図ります。
4. 製品の研究開発・設計段階からリサイクルと廃棄物発生量の減少を目指します。
5. 環境の保全活動に関し、国内外の要請に応え、地域との共生を目指して積極的に参画し、保護対策を実施します。

カワイグループは、すばらしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。

世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994 年に制定しました。

環境方針


カワイ環境方針

カワイ地球環境委員会

私たちは、楽器製造をはじめとする様々な事業の中で、環境への影響を配慮した活動を行い、地球環境の保全に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。

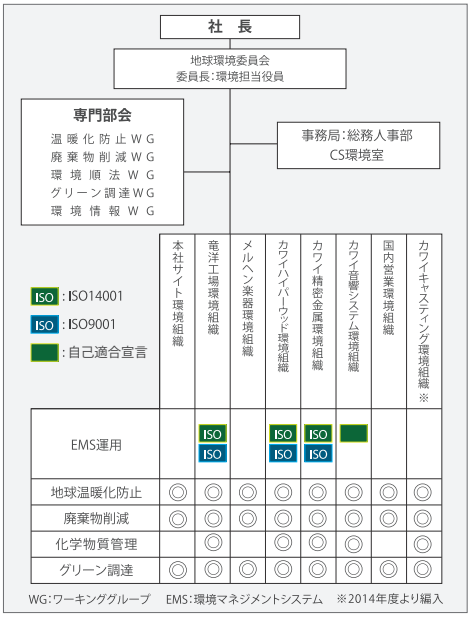
1. 環境マネジメントシステムにより、環境負荷の低減や有益な環境側面を発掘し推進することを目標に設定するとともに、社会の期待や大きさに応じた定期的な見直しを実施します。
   ① 社会の期待と環境負荷に配慮した「製品、サービスの提供」「技術の開発」に努めます。
   ② 開発、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において「地球温暖化防止」「資源循環活用」「資源有効活用」に努めます。
2. 必要な資源の調達・購入に際しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。（グリーン調達）
3. 環境に関連する法規制を遵守するとともに、その他の要求事項を考慮して自主的な基準を設け、環境管理レベルの向上に努めます。
4. 環境教育を通じ、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、日常業務や日常生活の中で自主的な貢献活動ができるよう啓蒙と支援を行います。
5. この環境方針を達成するため、環境管理担当役員を総括責任者とした環境管理の組織、運営制度を整備し、目標・計画・施策・責任を明確にして環境保全活動を展開します。

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

http://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kp_20040127.pdf

環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目標を設定し活動しています。毎年環境月間の6月を中心に各サイトの昨年度実績及び当年度の目標を報告する全体会議を開催しております。



環境監査

カワイでは、環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善のPDCA サイクル(計画・実行・検証・対応の繰り返し) をまわすため、定期的に「外部審査」「内部環境監査」を実施しています。

外部審査

認証取得サイトでは、認証機関による毎年のサーベランス審査および定期毎の更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

〈環境マネジメントシステム(EMS)〉

事業者が自主的に環境保全に関する取り組みを進めるに当たり、環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくシステム。国際規格のISO14001、環境省が策定したエコアクション21 などがあります。

PCB 汚染物の処理

河合楽器製作所本社、竜洋工場、研修センター、カワイ精密金属松本工場にありましたPCB汚染物14台を所定の指定処理事業所で処分いたしました。

〈古い高圧受変電設備の更新（松本工場）〉

PCB 廃棄物の処分について

保管事業所		PCB 廃棄物 台数	
河合楽器製作所	本社	1	12
	竜洋工場	10	
	研修センター	1	
KSK 松本		2	
合計		14	

環境経営

CO_2 排出量・廃棄物排出量の削減に取り組んでいます

2016 年度の環境目標と実績

2016年度から2018年度の3 ヶ年計画・目標

地球環境委員会では地球温暖化の防止や資源の有効活用という目的のためにCO_2排出量及び廃棄物量を指標とした環境負荷の低減に取り組んでいます。

2013年度から2015年度までの地球環境委員会の3 ヶ年計画の実績を受けて、2016年度から2018年度までの新たな3 ヶ年計画を定めました。

この3 ヶ年計画における環境目標は、CO_2排出量と廃棄物排出量について、2015年度を新たな基準年として、売上高原単位で毎年1%削減することと設定しました。

環境目標（2016 年度～ 2018 年度）　基準年：2015 年度		
地球温暖化の防止	CO_2 排出量	毎年 1%削減（原単位）
資源の循環活用	廃棄物量	毎年 1%削減（原単位）

2016年度の実績

各事業所の環境組織では、活動の主な目的･目標として「生産効率の向上」「不良率の低減」「資源の有効活用」などを掲げて環境マネジメントシステムの推進に取り組んでまいりました。

2016年度の実績はCO_2排出量原単位で2015年度比+7.6%、廃棄物排出量原単位で2015年度比+3.6%と増加し、目標値（2015年度比-1%）を達成できませんでした。

	指　　標	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度		
		実　績	実　績	実　績	実　績	増 減	評 価
地球温暖化防止	CO_2 排出量原単位（kg-CO_2/ 百万円）	375	337	314	338	7.6%	×
	エネルギー量原単位（MJ/ 百万円）	7,356	6,666	6,238	6,643	6.5%	×
資源有効活用	廃棄物排出量（総量）（ton）	2,550	2,399	2,252	2,242	-0.4%	×
	廃棄物排出量原単位（kg/ 百万円）	42	36	33	34	3.6%	×

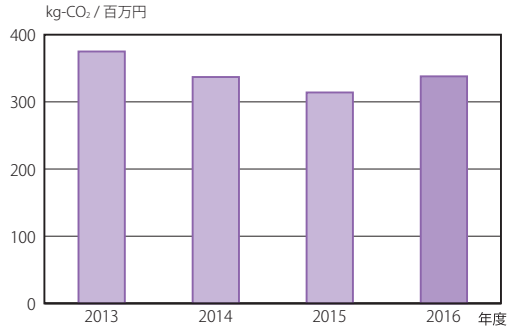
評価　◎：達成　×：未達成

環境経営指標

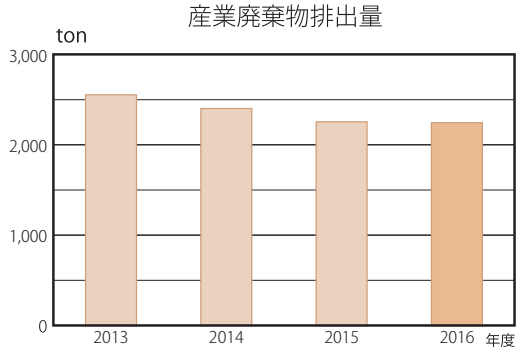
CO_2排出量、エネルギー使用量につきましては、2010年度からは改正省エネ法に対応するために国内生産拠点および全ての営業所・音楽教室を含め、2013年度からカワイグループとなった株式会社カワイキャスティングを含めて集計し、原単位を算出しております。

エネルギー使用量、CO_2排出量、産業廃棄物及び各原単位は2013年度から減少傾向でしたが、（株）カワイキャスティングの大幅な生産増加に伴い、グループ全体では2016年度は2015年度に対して産業廃棄物排出量以外は増加しました。産業廃棄物の減少は、竜洋工場での徹底した資源の有効活用やカワイ精密金属（株）の廃棄物の有価物化への取組み、（株）カワイキャスティングによる効率的な生産活動などの努力によるものです。今後も廃棄物の削減、資源の有効活用を重点課題として継続して検討を進めてまいります。

CO_2 排出量原単位



産業廃棄物排出量



事業活動にともなう環境配慮

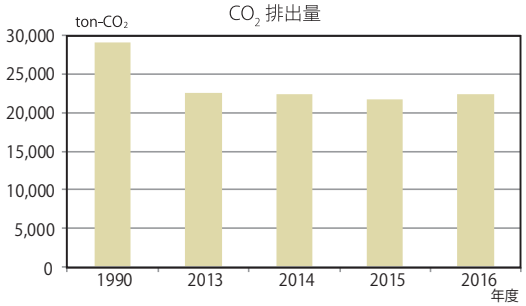
CO_2 排出量の削減と CO_2 吸収の取り組み

地球温暖化の防止

地球温暖化防止の取り組み（CO_2 排出量削減）

カワイグループでは地球温暖化防止を環境経営の重点項目と位置づけ、工場やオフィスのエネルギー使用によるCO_2の排出や物流によるCO_2の排出の削減に取り組んでいます。

工場の統廃合や海外進出に伴い、生産系事業所のCO_2排出量は京都議定書の基準年である1990年度に比べて大幅に減少して推移しています。2016年度は1990年に比較すると44%の削減となり、京都議定書の日本の目標値6%削減に対して大幅な削減を達成しています。なお、1990年当時の支社・営業所・音楽教室のCO_2排出量の推定値を含めた比較では、2016年度は1990年度に比較して、23%の削減と判断しております。



省エネ法（「エネルギー使用の合理化等に関する法律」）は、一定以上のエネルギーを使用している会社はエネルギー使用量の実績や中長期の省エネ計画を届け出なければならないことを規定しています。カワイグループの工場ではピアノ製造を行っている竜洋工場と鋳物製造の株式会社カワイキャスティングの2工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。自主的にCO_2削減計画を策定し、CO_2削減に取り組んでいます。

オフィスにおいては例年どおり夏期には「ノーネクタイ」「ノー 上着」活動とともに、冷房設定温度を上げる「クールビズ」運動を、冬期には暖房設定温度を20℃以下に保つ「ウォームビズ」運動を展開しています。

上海の窓辺には緑がいっぱい

上海カワイ電子有限公司では、環境美化の一環として女性社員が鉢植えを自主的に持ち寄って、毎日手入れをしてくれます。無機質な事務所に安らぎが与えられます。

さらに、小さな取組みでも地球全体で取り組んでCO_2吸収を推進していかなければなりません。

インドネシアの「カワイの森」

2007年からインドネシアにおいて、CO_2の吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生すること、将来の木材資源の確保を目指してカワイグループ従業員の寄付による「カワイの森」植林活動を行っております。2012年度までの第1期に250ha、植林本数30万本、生育本数24万本の規模の植林を達成しました。2013年から始まった第2期では、200haに22万本を植え、ほとんどが元気に成長しています。現在までの植林で年間7,000トン程度のCO_2吸収効果があると判断しており、これはカワイグループ全体の排出量の25%程度をまかなっていることになります。今後も継続してまいります。

Pankalan Karawan（2016年植林地）

Cibatu Purwakarta（2016年植林地）

主な製品の環境負荷の評価と節電活動

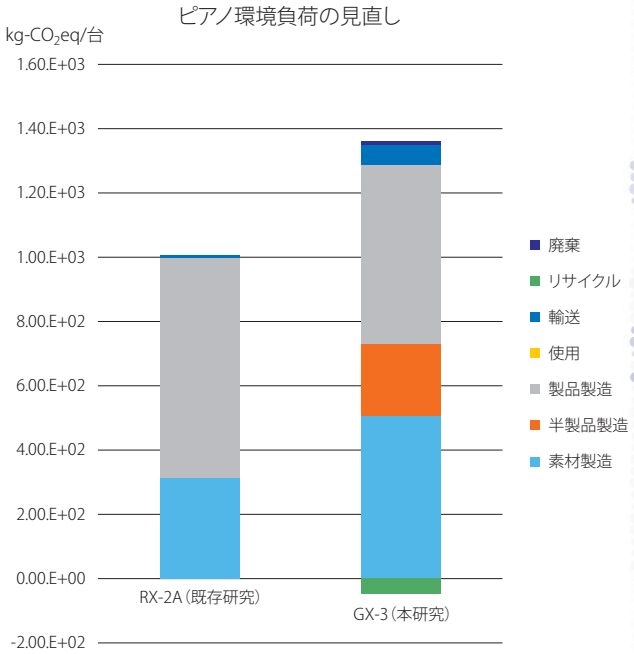
製品の環境負荷（LCA）

製品をつくるための資源の採取から部品、製品を作る過程で排出されるCO2及び製品を使用し、廃棄されるまでに排出されるCO_2の量をカワイの主な製品のグランドピアノ（GX-3）について行なった結果は次のとおりです。

ピアノは、一般の電化製品、自動車と異なり製品の使用時に排出されるCO_2はありません。また、製品寿命は一般的に数十年と長く、製造までのCO_2排出量が製品寿命の総CO_2排出量と考えることが出来ます。

LCA：Life Cycle Assessment の略。 製品の原材料の調達から製造、輸送、使用、廃棄までのライフサイクル全体を通して、環境に及ぼす各種の環境負荷を定量的に評価する手法。

資料提供：渡邊杜人、伊坪徳宏：森林保全を考慮したピアノの環境影響評価、第 12 回日本 LCA 学会研究発表会、つくば、2017 年 3 月 1 日～ 3 日



夏の節電活動

カワイグループでは、夏の期間中に節電活動を実施しております。

5月連休からクールビズに取り組み、エアコンの使用28℃設定で節電計画を実施しております。また、寒い時期にはウォームビズも実施しております。東北大震災時は目標を前年比15%削減として取り組み、カワイグループ全体の電力使用量を11%削減しました。現在も維持継続のため啓蒙活動を実施しています。

毎年、社内向け、お客様向けの省エネ活動のポスターを作成し、生産部門から営業部門ともに広く呼び掛け、お客様にもご協力をいただいております。2017年度も継続して節電活動に取り組んでまいります。

【2016 年：お客様向節電ポスター・社内向節電ポスター】

節電活動：竜洋工場の LED 照明、フロン排出抑制法対応

ピアノの主力生産工場の竜洋工場では水銀灯使用全廃に向け継続してLED照明に変更をしております。竜洋工場は「森の中の緑の工房」として1980年の建設時から環境に配慮してきた工場です。LED照明に更新することによって照度がアップし、照明の設置台数を減らすことができ、電力使用量の削減、メンテナンスの工数削減を図っております。また、通行の少ない通路・階段など人感センサー付きLED照明にして節電は元より、安全に十分配慮したレイアウトを心掛けております。さらに、フロン排出抑制のため、空調設備適正点検実施とともに、代替フロン設備への更新も進め、節電だけでなく環境への配慮も合わせて検討しています。

LED 照明への変更

代替フロン設備への更新

資源循環型社会のための活動を行っています

廃棄物削減・再資源化

廃棄物の削減と再資源化の取り組み

廃棄物について排出量の削減とともに再資源 化を図ることが重要な使命と認識して取り組んでいます。

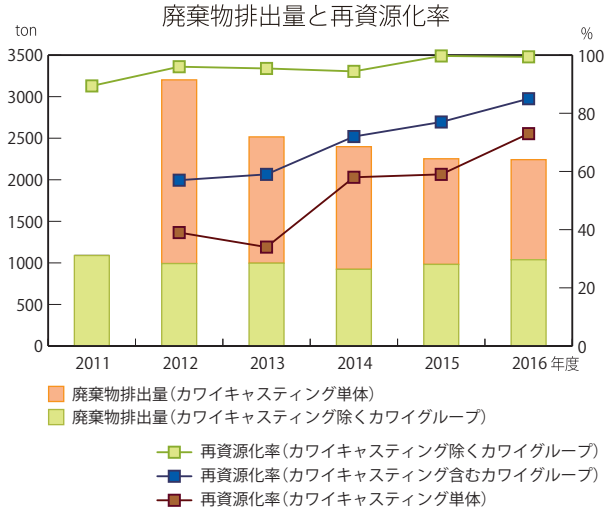
2012年度にピアノのフレーム製造の(株)カワイキャスティングがカワイグループの一員となりました。鋳物製造時に生じる大量の鉱さいが産業廃棄物として排出されるため、カワイグループ全体の産業廃棄物排出量は2011年度1,089tonから2012年度に3,203tonに大幅に増加しました。その後、(株)カワイキャスティングは生産ラインの合理化、製造方法の改善に取組み、2012年度2,210ton だった産業廃棄物排出量を2016年度には1,204tonにまで削減することができました。その結果、2016年度のカワイグループ全体の排出量は2,242tonとなり、2012年度比で30%削減することができました。

廃棄物の再資源化率についても(株)カワイキャスティングの影響が大きく、カワイグループ全体の再資源化率は2012年度に57%に悪化しましたが、(株)カワイキャスティングで鉱さいの路盤材などへの再資源化を積極的に進めることにより(株)カワイキャスティングの再資源化率が2012年度39%から2016年度に73%と倍増しました。これによりカワイグループ全体の再資源化率は2016年度に85%に向上することができました。

なお、(株)カワイキャスティングを除くカワイグループの産業廃棄物排出量は2015年度982tonに対して2016年度は1,038tonと5.7%の増加でした。2016年度の再資源化率は99.4%で99%以上を継続維持しました。とくに、この中で大きな割合を占める竜洋工場では木くず、木粉は 製紙原料、ボード原料、堆肥、燃料他として活用し、フェルトの堆肥化などにより再資源化率100%を達成しております。

今後も廃棄物排出量の削減、再資源化率の向上を目指してまいります。

廃棄物排出量と再資源化率



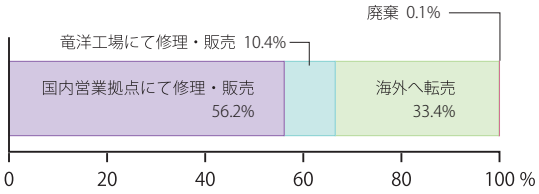
廃棄物の再利用（竜洋工場）

リサイクル・リユースの取り組み

循環型社会形成推進のために拡大生産者責任を踏まえて、ピアノの再生利用と再使用（リユース）を推進するために1998年に(株)ピアノリサイクルを設立しました（現在は(株)河合楽器製作所に吸収合併）。現在、国内統括部のリサイクル担当グループが竜洋工場内で本事業を担当しています。また、日本国内の営業拠点においても下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2016年度に国内で約1,050台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、33.4%は輸出され、世界の各地で使われています。

下取りしたピアノの再生リユース (2016 年)



メーカーによるピアノ再生

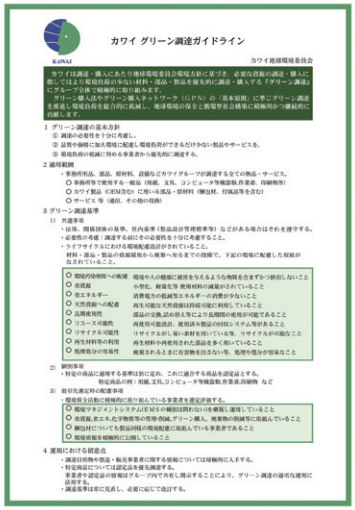
メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり90年の製造部門で長年の経験をもち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から大変好評をいただいています。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、これも大きな魅力となっています。

持続可能な原材料・資源の調達を推進しています

グリーン調達

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入する『グリーン調達』にカワイグループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク(G P N)の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減し、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。


カワイ グリーン調達ガイドライン

KAWAI　カワイ地球環境委員会

カワイは調達・購入にあたり地球環境委員会環境方針に従うため、必要な資源の調達・購入に際しては より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入する『グリーン調達』にグループ全体で積極的に取り組みます。
グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク（GPN）の「基本原則」に準じグリーン調達を推進し環境負荷を総合的に低減し、地球環境の保全と循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献します。

1 グリーン調達の基本方針
① 調達の必要性を十分に考慮し、
② 品質や価格に加え環境に配慮し環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを、
③ 環境負荷の低減に努める事業者から優先的に調達する。

2 適用範囲
・事業所用品、商品、原材料、設備など カワイグループが調達するなどの物品・サービス。
○ 事務所等で使用する一般品（用紙、文具、コンピュータ等機器類、作業着、印刷物等）
○ カワイ製品（OEM含む）に用いる部品・原材料（梱包材、付属品等を含む）
○ サービス 等（通信、その他の役務）

3 グリーン調達基準
1） 共通事項
・法規、関係団体の基準、社内基準（製品設計管理標準等）などがある場合はそれを遵守する。
・必要性の考慮・調達するのにその必要性を十分に考慮すること。
・ライフサイクルにおける環境配慮設計がされていること。
材料・部品・製品が資源採取から廃棄へ至る迄の段階で、下記の環境に配慮した取組がなされていること。

○ 環境汚染物質への配慮	環境や人の健康に被害を与えるような物質を含まずかつ排出しないこと
○ 省資源	小型化、軽量化等 使用材料の減量がされていること
○ 省エネルギー	消費電力の低減等エネルギーの消費が少ないこと
○ 天然資源への配慮	再生可能な天然資源は持続可能に利用していること
○ 長期使用性	部品の交換、設定が容易等により長期間の使用が可能であること
○ リユース可能性	再使用可能設計、使用済み製品の回収にシステム等があること
○ リサイクル可能性	リサイクルが広く取り組まれ実績があり、リサイクルが可能なこと
○ 再生材料等の利用	再生材料や再使用された部品を多く用いていること
○ 処理処分の容易性	廃棄されるときに有害物を出さない等、処理や処分が容易なこと

2） 個別事項
・特定の商品に適用する基準は別に定め、これに適合する商品を認定とする。
特定商品の例：用紙、文具、コンピュータ等機器類、作業着、印刷物 など
3） 取引先選定時の配慮事項
・環境保全活動に積極的に取り組んでいる事業者を選定評価する。

○	環境マネジメントシステムがISMSの観点は問わないが全般的に運用していること
○	在庫品、消耗品、化学物質等の管理・削減、グリーン購入、梱包材の削減等に取組んでいること
○	梱包材についても製品同様の環境配慮に取組んでいる事業者であること
○	環境情報を積極的に公開していること

4 運用における留意点
・調達目的物や商品・販売事業者に関する情報については法規制に入手する。
・特定商品については認定品を優先調達する。
事業者や認定品が情報はグループ内で共有し調達することにより、グリーン調達の適切な運用に活用する。
・調達基準は常に見直し、必要に応じて改訂する。

サプライヤー選定時の配慮事項も次のように定め、購買部門よりお取引先に対し対応をお願いしています。

- 環境汚染物質への配慮、省資源、省エネルギー
- 天然資源への配慮、長期使用性、リユース可能性
- リサイクル可能性、再生材料等の利用
- 処理処分の容易性

- 環境マネジメントシステムを構築し運用していること
- 省資源、省エネ、化学物質管理、グリーン購入等への取組がなされていること
- 梱包材についても環境に配慮していること
- 環境情報を積極的に公開していること

木材の調達

ピアノの心臓部ともいわれる響板には厳選されたアラスカのスプルースが使われます。樹齢150～400年、高さが60mにも達する針葉樹の大木です。ピアノの響板には地上6～20mの部分で木目がまっすぐかつ「ふし」のない部分しか使えません。

高品質で貴重な木材を多く使用する楽器メーカーとして、木材を生み出す森林の保護、育成、保全は特に重要と考え、生物多様性の保全に配慮した木材の調達に取り組んでいます。

スプルース (マツ科 トウヒ属) の断面

ピアノ響板に使用、樹齢 250～260 年

木材調達ガイドライン（2006 年 6 月開示）

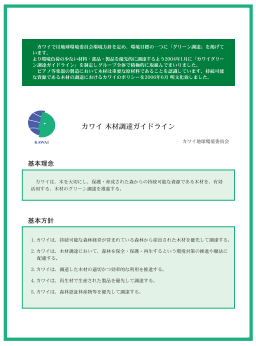
2006 年に持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

基本理念

カワイは、木を大切にし、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

基本方針

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や順法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物を優先して調達する。


カワイでは地球環境委員会環境方針を定め、環境目標の一つに「グリーン調達」を掲げています。
KAWAI 木材調達ガイドライン 2006年6月 を制定しました。「カワイグリーン調達ガイドライン」を補足し、グループ全体で積極的に取組んでまいります。
ピアノ等楽器の製造に欠かせない材料資源の持続性であることを認識しています。持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを2006年6月 明文化致しました。

KAWAI　カワイ 木材調達ガイドライン　カワイ地球環境委員会

基本理念

カワイは、木を大切にし、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

基本方針

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や順法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物を優先して調達する。

環境配慮型製品

環境に配慮したピアノ

ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵

ピアノの鍵盤の素材は、白鍵には象牙、黒鍵には黒檀が最良とされ、古くから使われてきました。

しかし 1980年代に入ると野生動植物の保護意識が世界的に高まり、代替素材が求められるようになりました。カワイは他に先駆けて、植物性樹脂を主原料とする、まったく新しい独自の鍵盤素材を1988年に開発しました。

それが、数々の優れた特長、機能を持つ“ファインアイボリー”（人工象牙）と“ファインエボニー”（人工黒檀）です。

ピアニストからの評価は時とともに高まり、現在では新時代の鍵盤素材として高い評価が定着しています。

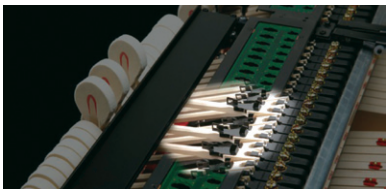
鍵盤の拡大写真

環境配慮型アコースティックピアノ

消音ピアノ「ANYTIME X (エニィタイム エックス)」シリーズを2014 年 7 月 4 日に発売しました。「ANYTIME X」シリーズは、夜間など音を出せないときにデジタル音源に切り替えて演奏を楽しむことができるピアノです。

「ANYTIME X2」はタッチ感を向上させたハンマー検出型センサー「インテグレーテッドハンマーセンシングシステム(IHSS)」をはじめ、響板スピーカーシステムやスライド式スイッチパネル、最新型デジタル音源の搭載など、消音ピアノの枠を超えたハイブリッドピアノとしてさらに進化しました。

ANYTIME X2 Hybrid



インテグレーテッドハンマーセンシングシステム (IHSS)

響板スピーカーシステム

「4 畳半に設置可能な本格的なグランドピアノ」GL シリーズ 誕生 （国内 2015 年 9 月 5 日発売）

ピアノは木材を適材適所で有効に活用している優れた環境商品といえますが、カワイでは物性測定による選別を行うことで、木材の落とし(廃棄)を極力減らし、限りある木材を有効利用する努力を継続しています。

そしてカワイグランドピアノのフィロソフィを受け継いだ普及価格帯のグランドピアノ『GLシリーズ』を2015年9月に発売しました。

最小モデルのGL-10は、省スペース・低価格ですが、音もタッチも本格派です。コンパクトサイズながらもフルコンサートグランドピアノのような驚くほど軽快なタッチ感と立体感のある響きを実現し、広い部屋がなくても、心に響くサウンドを楽しむことができます。

GL-10

環境に配慮したデジタルピアノ

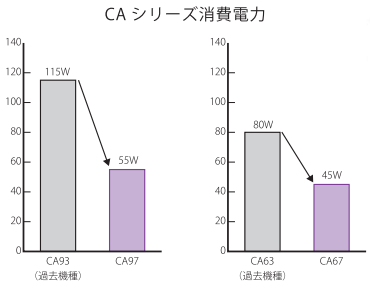
省電力型デジタルピアノ CA シリーズ、CN シリーズ

当社デジタルピアノの最新モデルは、デジタルアンプの採用など、システム全体を見直すことにより『CA97』では約 50%、『CA67』は約 45%、『CN27』は約 75%、『CN37』は約 55%（いずれも当社過去機種比）の省電力化を実現しています。オートパワーオフ機能も搭載しており省エネを実現した環境に優しいデジタルピアノです。

目指したのはグランドピアノの性能　Concert Artist シリーズ『 CA97』『CA67』

"Concert Artist"シリーズは、その名のとおりアーティストが使用するコンサートグランドピアノを目標として開発したカワイデジタルピアノのトップブランドです。

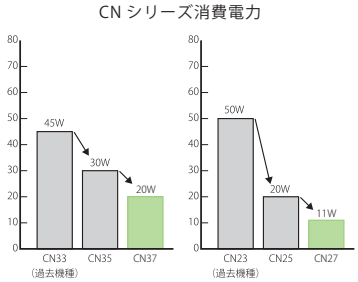
CA97 - プレミアムブラックサテン調



表現力を大幅に向上したデジタルピアノ　『CN37』『CN27』

入門者向けのデジタルピアノ「CNシリーズ」は、ピアノとして の充実した基本性能を兼ね備えながらも、お求めやすい価格を実現 しました。

CN27 - プレミアムライトオーク調



オートパワーオフ機能搭載デジタルピアノ

カワイの電子ピアノCA97/67/17、CN37/27、ES8 は、何も動作していない状態が一定時間続いたときに、自動で電源を切れるオートパワーオフ機能を内蔵しています。

フルコンサートピアノ「SK-EX」サウンド、最新鍵盤による優れたピアノ性能

カワイデジタルピアノは、ピアノメーカーとしてピアノ音と鍵盤タッチというピアノの基本性能に強くこだわり、高いクオリティーを実現しています。世界のコンクールで活躍しているカワイのフルコンサートピアノSK-EXの音を高精度でサンプリングした音源、ピアノと同じ構造をもつ木製鍵盤、独自のキーウェイトを備えたプラスチック鍵盤など、ピアノ演奏の満足度を高める製品を開発しています。

CA17- プレミアムホワイトメープル調

CN37- プレミアムローズウッド調

カワイ防音ルーム『ナサール オーダータイプ』モデルチェンジ

『ナサール』オーダータイプ

オーダータイプ ルームプランは、設置するお部屋を最大限に生かせる自由設計の防音ルームです。カワイ独自のパネル工法により、在来方式の防音工事と比べ、工期は短く、安定・確実な遮音性能を確保します。また、オリジナルの音調内装板など、室内に使用する仕上材の組合せによりお客様の好みや用途に合わせた響きをご提案します。

お客様のご予算・ご要望に合わせ、最適のプランをご提案いたします。

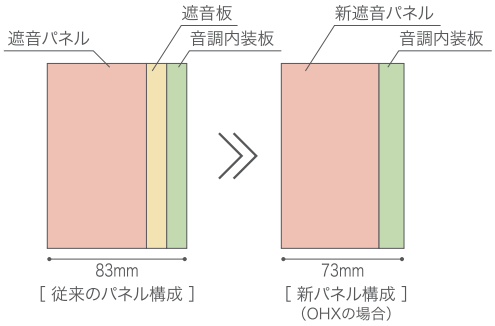
機種名	単体遮音性能	総合遮音性能 A（木造）	総合遮音性能 B（RC造）
OHX	Dr-35	Dr-50~60	Dr-55~65
OKX	Dr-40	Dr-55~65	Dr-60~70

※総合遮音性能は建物により変わります。

新遮音パネルの採用で、工期短縮と広い室内スペース確保

これまでの壁部分のパネル構成は遮音パネルと音調内装板の間に遮音板を挟む工法でしたが、今回開発した新遮音パネルを採用することで、間に遮音板を挟むことなく、これまで通りの高い遮音性能を発揮します（JIS規格遮音測定基準に準拠）。

部材が減ったことで、室内のスペースをより広く確保することができ、さらに施工期間を約1日程度、短縮できます。また部材・工程の削減により、施工中に発生するゴミの減量も実現しました。



パネル構成の改善

環境パフォーマンス

企業活動による環境負荷を数値で把握することが環境活動の第一歩と考えています

マテリアルバランス

カワイグループでは、事業活動にともなって発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために開発・設計・調達・製造から輸送、さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階の資源・エネルギーの使用量やその他の環境負荷についてデータ集計を行なっております。

2015年度におけるエネルギー、化学物質、資源などの投入量とCO_2、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。今後もデータ把握の対象を広げ環境負荷の低減に取り組みます。

INPUT

エネルギー (GJ)	
総　計	442,078
電力	377,121
A重油	8,951
LPG	21,483
灯油	3,908
石炭コークス	30,615

水 (千㎥)	
総　計	246
井水	76
水道水	110
工業用水	60

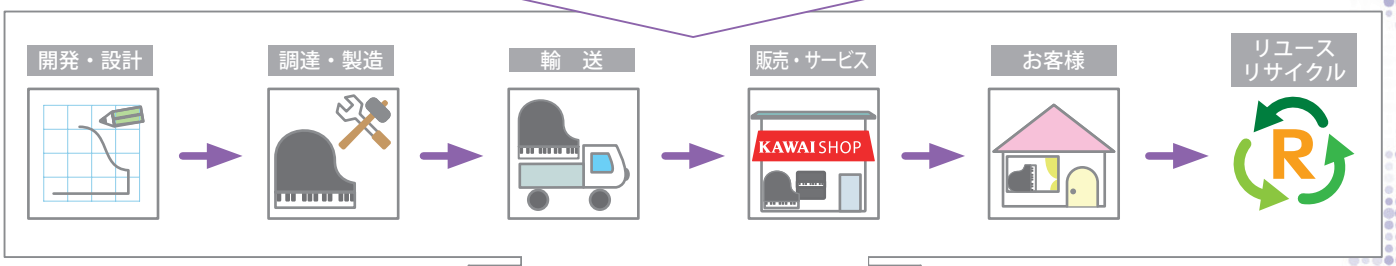
化学物質 (ton)
118

燃料 (GJ)	
ガソリン	585
軽油	1,177

容器包装 (kg)	
紙	4,587
プラスチック	9,918

エネルギー (GJ)	
電力	0

ピアノの演奏は人力のため、使用段階でのエネルギーは0と評価しました。
また、電子ピアノ・オルガンについては演奏時間等の設定が困難なため、対象から外しました。



OUTPUT

温室効果ガス (ton-CO_2)	
CO_2	22,469

排水 (千㎥)	
	197

化学物質 (ton)	
排出量	42
移動量	5

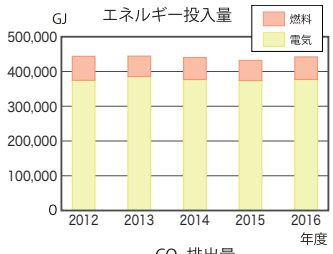
廃棄物 (ton)	
総排出量	2,266
焼却・埋立	332
再資源化	1,934
温室効果ガス (ton-CO_2)	
CO_2	329

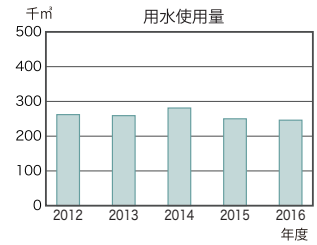
容器包装 (kg)
3,259

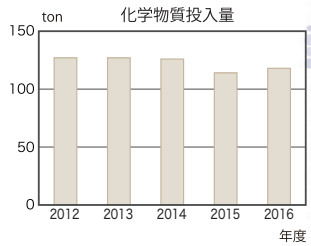
温室効果ガス (ton-CO_2)	
CO_2	0

アコースティックピアノの使用段階における排出は0と推定しました。
また、電子楽器についてはINPUT同様の考えから対象から外しました。

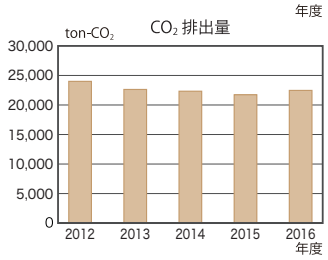
INPUT

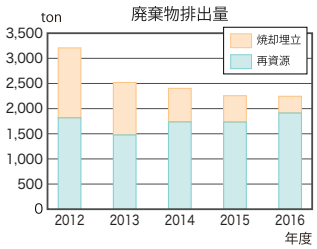


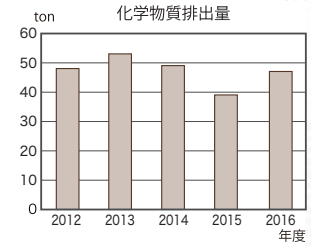




OUTPUT





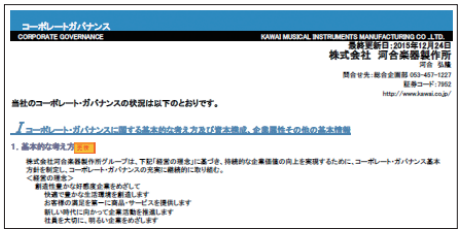


社会性報告

コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス

コーポレート・ガバナンス基本方針を制定　2015.12.24

　コーポレート・ガバナンスとは、健全で効率的な会社経営を遂行するための仕組み「企業統治」です。
　当社は「経営の理念」に基づき、持続的な成長と、中長期的な企業価値の創出に向けて『コーポレート・ガバナンス基本方針』を制定しました。コーポレート・ガバナンス基本方針は、持続的な企業価値の向上を実現するために継続的に取り組むことが目的で、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方など、５つの章に定めています。


コーポレートガバナンス
CORPORATE GOVERNANCE
KAWAI MUSICAL INSTRUMENTS MANUFACTURING CO.,LTD.
最終更新日：2015年12月24日
株式会社 河合楽器製作所
河合 弘隆
問合せ先：総合企画部 053-457-1227
証券コード：7952
http://www.kawai.co.jp/
当社のコーポレート・ガバナンスの状況は以下のとおりです。
Ⅰ コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及び資本構成、企業属性その他の基本情報
1. 基本的な考え方 更新
株式会社河合楽器製作所グループは、下記「経営の理念」に基づき、持続的な企業価値の向上を実現するために、コーポレート・ガバナンス基本方針を制定し、コーポレート・ガバナンスの充実に継続的に取り組む。
<経営の理念>
創造性豊かな対感度企業をめざして
快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切に、明るい企業をめざします

詳細はWebサイト
http://www2.kawai.co.jp/company/governance/20151224_7952_gad.pdf

コンプライアンスの推進

　コンプライアンスとは法令等遵守と訳され、社会の法令や会社内の規程などを守っていくことだけでなく、社会規範 を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく事が必要であると考えられています。
　このような事からカワイグループでは全従業員が取り組む、コンプライアンス経営を推進しております。 具体的には法令遵守に加え、社会的な規範を包含したカワイ倫理規範、倫理行動規準を制定するとともに、外部有識者(弁護士) を加えた企業倫理委員会を設置しております。
　また、企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めております。

内部統制システムに関する基本的な考え方

　当社では「経営の理念」および「行動指針」を策定し、業務運営の指針としており、併せて中期計画に掲げた目標の達成に向けて、各組織が予め定められた役割に従い、法令や定款に則って効率的に戦略遂行できる体制構築を目指しています。また、法律問題につきましては、分野ごとに 恒常的に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。
　内部統制システムについては、企業価値向上のためのコーポレート・ガバナンスの一環としてその重要性を認識し、2006年5月12日に取締役会で決議しました「内部統制システムの構築に関する基本方針」に則り、その確立に取り組んでおります。

反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

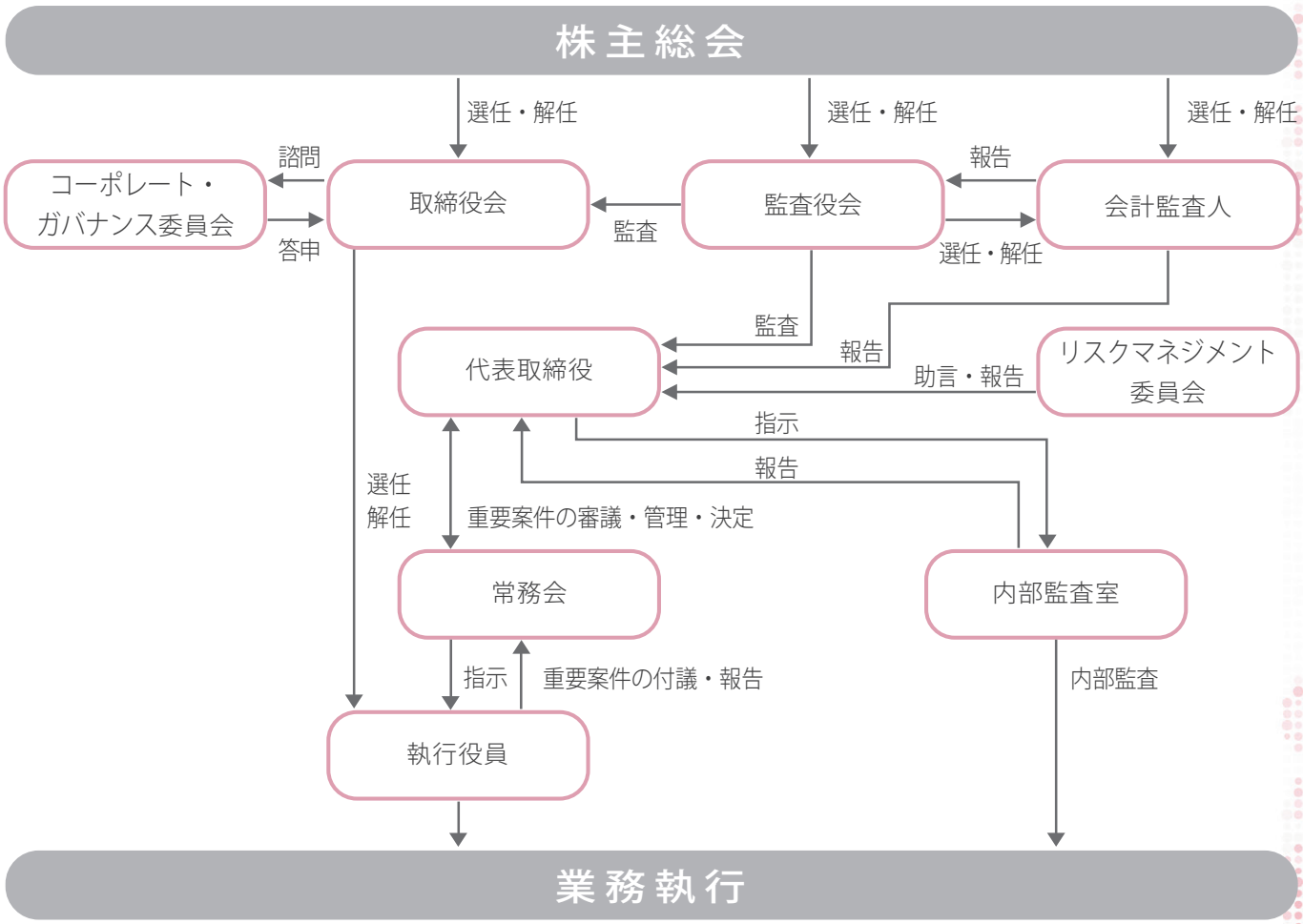
　反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要なものであります。このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めております。

河合会長兼社長のコミットメント

　私は新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、1996年4月に新しい経営の理念を制定いたしました。
　新しい経営の理念の中で『お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します』『新しい時代に向かって企業活動を推進します』と謳っております。
　すなわちお客様の満足度を常に考え、カワイブランドに対する信頼の維持を図り、新時代の社会の要請などに沿った企業活動を推進していくというものです。
　2002年10月には社員ひとりひとりが企業社会人として、社会的良識をもって行動するための基本となる「カワイ倫理規範」「倫理行動規準」を制定いたしました。カワイグループの企業倫理の遵守を第一に高い倫理観と常識をもって行動し、「社会からの信頼」に応え、カワイブランドに対する信頼を損なわないようにすることが必要であると認識しております。
　このようなことを踏まえ、私は、今回ここに業務の遂行にあたり、役員以下カワイグループ全社員に率先して当社のもつ社会的責任を自覚し、あらゆる場面において「カワイ倫理規範」を遵守し、「倫理行動規準」の精神に則って行動することを誓います。

代表取締役会長兼社長
河合弘隆

コーポレート・ガバナンス　体制 / 内部統制システム



- 取締役会：社外取締役を含む取締役で構成
- 監査役会：社外監査役を含む監査役で構成
- コーポレート・ガバナンス委員会：取締役の諮問機関として「コーポレート・ガバナンス委員会」を設置し、取締役候補者の選定に関する事項や、取締役の報酬に関する事項、その他 コーポレート・ガバナンスの向上に関し審議し取締役会に答申、報告を行っています。
- 2002 年 4 月より執行役員制度を採用
- 2005 年 6 月より執行役員制度を改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。また、社外取締役を選任しており、社外取締役には、客観的な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性を高めております。

- 経営会議体として全社的課題を審議するステアリング・コミッティ、戦略課題を全社的見地で審議する全社戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。
- 内部監査：「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の順守状況についての監査を行っています。

リスク管理体制

当社のリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止することを第一とし、リスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必要に応じグループ全体を対象とした委員会等を設置するなど、機動的な対応に努めております。

リスクマネジメント委員会は、カワイグループ全体のリスクへの対応のために、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に取締役会に報告しております。

傘下に下記分野別の各委員会を設置するとともに、不測の事態が発生した場合には、「緊急対策本部」をただちに設置し、迅速な対応と損害の拡大の防止にあたるものとしております。

リスクマネジメント委員会

地球環境委員会

カワイグループは1994年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会ではカワイ地球環境憲章、カワイ環境方針、グリーン調達ガイドライン、木材調達ガイドライン等を制定。また環境に関する法令の順守はもとより環境保全の目的･目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。

海外安全対策委員会

海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。

中央防災対策委員会

カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。

中央安全衛生委員会

カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。

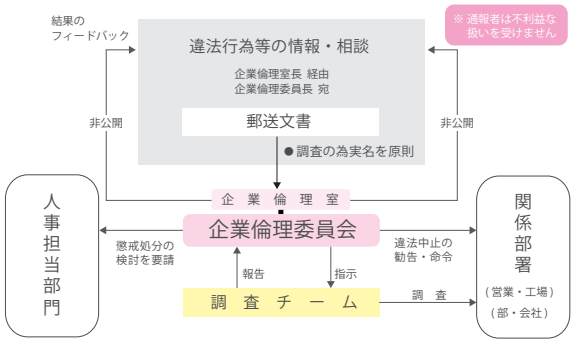
情報セキュリティ委員会

情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。

企業倫理委員会

コンプライアンス経営を推進するため、法令遵守に加え社会的な規範をも包含したコンプライアンス要綱（カワイ倫理規範、倫理行動規準を含む）を制定するとともに弁護士等外部有識者を加えた企業倫理委員会を設置しています。また企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。

企業倫理委員会・企業倫理ホットラインの流れ



製品安全対策委員会

万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があると判断されるときに、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。

株主・投資家の皆様とともに

株主・投資家の皆様へのＩＲ活動に取り組んでいます

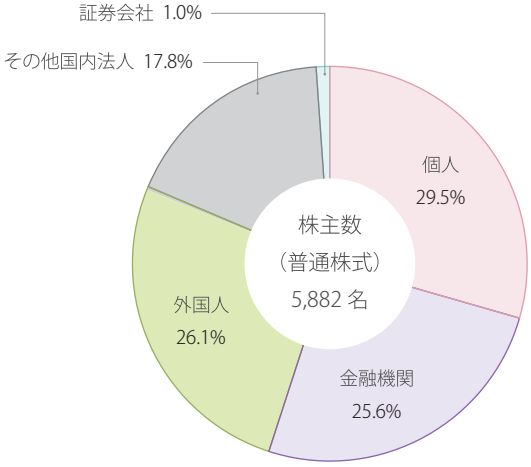
決算説明会

2017年5月26日、東京 日本証券アナリスト協会にて、機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催いたしました。

連結業績の概要と、2016年4月から2019年3月までの中期経営計画「Resonate2018」の初年度の取り組みについてご説明し、ご理解をいただきました。

同説明会で使用した資料は、当社ウェブサイトにて公開しております。

株式の発行状況と所有者別状況 (2016 年 3 月 31 日現在)



円グラフは保有株式ベースの割合

発行可能株式総数	普通株式	34 百万株
発行済株式総数	普通株式	9 百万株

定時株主総会

2017年6月27日、カワイ本社にて第90期定時株主総会を開催いたします。事業報告においてはプロジェクタとナレーションによる説明を採用し、カワイグループの業績や事業展開についてはグラフや写真を用いて、株主の皆様にとってわかりやすい説明を心がけています。

ＩＲサイト

IR：Investor Relations の略。
企業による投資家向けの情報提供などの広報活動。

ステークホルダーの皆様にカワイの経営戦略や財務内容を開示し適切な企業価値へと結びつける活動（IR活動）の手段としてカワイウェブサイトにIRサイトを開設しています。

http://www.kawai.co.jp/ir/

環境社会報告書のウェブサイトによる開示

カワイのウェブサイトのトップページの「CSR」から「環境への取り組み」に進んでいただきますと、過去の環境社会報告書もご覧いただけます。

http://www.kawai.co.jp/csr/

みなさまとの関係

文化貢献活動

音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指して、また、日本の音楽文化を育てるため、カワイは、さまざまな音楽活動や文化活動を行っています。人々の心に感動の輪を広げたい。カワイの願いは着実に実を結んでいます。

カワイ音楽振興会

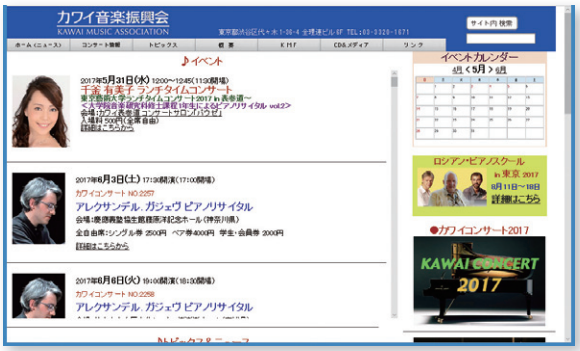
カワイ音楽振興会は日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。「カワイコンサート」の開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画実施しています。

また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行なっています。

これからも、“Music for All”の理念のもと、様々な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供してまいります。

多彩なコンサートや公開講座情報を掲載している「カワイ音楽振興会サイト」をご参照ください。

http://kawai-kmf.com/



カワイコンサート

1971年に日本中の人々に良い音楽をというポリシーのもとスタートしたカワイコンサートは、発足以来これまでに2250回をこえる公演を全国各地で行ってきました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手演奏家まで多彩な演奏家を招いて、皆様に良い音楽との触れ合いを楽しんでいただいています。

このカワイコンサートの過去から直近の情報につきましては、カワイ音楽振興会サイトをご参照ください。

ヨーロッパ・カワイコンサート

1976年設立のカワイドイチュランドGmbHを経て1979年に設立されたカワイヨーロッパGmbHは、欧州におけるカワイの重要な拠点になっています。1990年にデュッセルドルフから北西方向25kmのクレフェルト市に移転して以来、1991年に始まったヨーロッパ・カワイコンサートはクレフェルト市「カンプスホール」で行われています。

これまでに220回以上のコンサートを開催しております。また、著名ピアニストを招聘してピアノマスタークラスを主催するなど、様々な文化事業を行ってきました。浜松市とクレフェルト市との文化交流においても支援を行っております。

日本ショパン協会への支援

日本ショパン協会は、1960年8月、フレデリック・ショパン生誕150年を記念して設立されました。初代会長は高折宮次先生で、高折先生と交流のあった河合滋社長(当時)が名誉会長となり、事務局を河合楽器製作所内に設置して、その活動をスタートしました。

以後年に数回の演奏会や公開講座の例会、1980年以降5年毎のショパン国際ピアノコンクールへの参加者オーディション、2005年以降は5年毎に日本ショパンピアノコンクール、2010年以降毎年ショパン・フェスティバルin 表参道、などを開催。また、1974年以降、年間最も優れたショパン作品を演奏したピアニストに対し「日本ショパン協会賞」を贈呈するなど、ショパンとその芸術の普及のために活発な活動を行っています。

http://chopin-society-japan.com/

クロイツァー記念会への支援

クロイツァー記念会は、ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の遺徳をしのぶ門下生および関係者により1962年3月、高折宮次氏を会長に設立されました。日本のピアノ音楽界発展のために尽くすという設立主旨に沿って諸事業を行っています。

1971年より、クロイツァー教授の日本楽界に対する功績を記念して「クロイツァー賞」を制定し、教授が生前教鞭をとった「東京芸術大学」、「国立音楽大学」、及びゆかりの深かった「武蔵野音楽大学」の各大学院ピアノ専攻修了生の中から、特に優れた成績をおさめた人に賞を贈呈しています。

またこの受賞者を対象とした「クロイツァー賞受賞者演奏会」を1976年より毎年開催するほか、ショパン=クロイツァー校訂版楽譜（音楽之友社刊）の出版に協力しております。(現在は、楽譜配信サイト『@ELISE (アット・エリーゼ)』よりダウンロード販売されています。)

http://kawai-kmf.com/kreutzer/

日本・ロシア音楽家協会への支援

1984年、日ソ音楽家協会の名で、当時のソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長芥川也寸志氏の親交から、両国の音楽作品の交換演奏を中心とする音楽文化交流を目的に発足。その後、ソ連の崩壊により「日本・ロシア音楽家協会」と名称を変更。新生ロシアと旧ソ連邦諸国との新たな交流活動に入りました。ロシアとの文化交流コンサートを開催すると同時に、声楽・器楽のコンサートや公開レッスン、公開講座、シンポジウムなどを開催しています。

http://japan-russia-sfm.net/

ЯРОМ 日本・ロシア音楽家協会
Japan-Russia Society for Musicians

日本シマノフスキ協会への支援

日本シマノフスキ協会は、1981年、カロル・シマノフスキ生誕100年を記念して設立されました。

シマノフスキがポーランドを代表する作曲家としてショパンと並び称されるには、いくつかの理由がありますが、最大の理由は、彼の後期の作品がポーランドの山岳地帯の古い形の民謡をもとに傑作を生みだしたことによるものです。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された深い味わいがあるシマノフスキ作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のフレッシュ・コンサートや、例会としてコンサートや公開講座等を開催しています。

http://kawai-kmf.com/szymanowski/

日本シマノフスキ協会
KAROL SZYMANOWSKI

人間の本来のあるべき姿、人間的豊かさの育みを第一に考える
カワイの教育事業は各種教室事業や教育者育成事業を展開しています

教育事業

personality & harmony

丸い人、三角の人、いろんな人がいるから楽しい。
みんな同じだったら、きっと世の中はつまらない。

私らしさを大切にしたいから、
あなたらしさも大切にしたい。

一人ひとりに、それぞれの可能性。
丸い人はもっと丸く、三角の人はもっと三角に。

それがカワイ音楽教室。
わたしたちは音楽で個性を伸ばします。

カワイ音楽教室では、「個」そしてその「表現」を大切にします

カワイ音楽教室では、子どもたちの興味の芽を大切にし、素直に表現する感性を育てるため、音楽教室を中心にさまざまな教育活動を展開しています。

1956年（昭和31年）の創立以来「音楽を身につける過程で、個々の持つ様々な能力や可能性が見いだされ、発揮されること」「音楽を学ぶことでこそ得られる人格的なふくよかさや、奥深く幅広い豊かな人格形成を求めること」「技術的な進歩だけに偏らない、真に芸術的な感性と人間的魅力に溢れた新しい日本の文化人を育成すること」等を中心的目標として掲げ、日本中に音楽芸術を愛好する多くの豊かな人々を育ててまいりました。

近年では、東南アジアを中心とした新興国に対して、ピアノ音楽文化の普及を図るべく、直営教室や各地の代理店を通じた音楽教室の展開を図っています。

カワイ音楽教室

personality & harmony
カワイ音楽教室

当社が運営するカワイ音楽教室は、音楽文化の普及を目指して1956年(昭和31年)に第1号教室を開設、以来60年にわたり、音楽教育を通じて多数の音楽愛好者を育成し、現在では日本全国に4,500を超える直営の教室を運営しています。レッスンコースは、1歳児を対象とした「クーちゃんランド」に始まり「おとなのミュージックスクール」まで、年齢やレベルに合わせて多彩なコースが設定されています。

カワイミュージックスクール

personality & harmony
KAWAI MUSIC SCHOOL

中高年の人々の生涯学習や余暇活動に対する関心が年々高まっています。カワイでは、こうした社会ニーズに対応し、ピアノ、フルート、バイオリン、ドラム、ボーカルなど、40種以上に及ぶ大人のための音楽教室を運営しています。いずれも自分の好きな曲をその人のレベルに合った内容で受講でき、またレッスンの回数や形式が選択できるなど、個性に合ったレッスンが受けられることから、多くの受講者を集めています。

カワイ英語教室

personality & harmony
カワイ英語教室

カワイ英語教室は、長年にわたる教育現場における経験から独自に開発した「IMA方式」を採用し、音楽やリズム、全身を使ってのゲーム等による、発達した段階にあわせたレッスンや、様々なイベントを通して子どものたくましい想像力や感性を伸ばし、心と体で話せる英会話を習得していきます。子どもの豊かな想像力を刺激し、子ども自身が想像し、推理し、工夫して学んでいくカリキュラムを実践しています。

I M A方式：	I magination	子供の豊かな想像力
	M usic	英語の音楽性やリズム
	A ction	全身を使って英語を表現

カワイ絵画造形教室

personality & harmony
カワイ絵画造形教室

カワイ絵画造形教室は、豊富な素材をふんだんに使ったさまざまな造形表現活動を通して、子どもたちが創造力や人間らしい心を育みながら「生きる力」を身につけていくことを目指しています。

「あそび」ながら「創造」する力、表現力が身につきます。

♪絵画造形教室の特長：　一人ひとりの発達
描きたくなる環境
「先生、あのね」の気持ち

長期的な安定成長を目指すための教育戦略

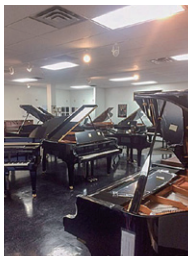
海外における展開

新興国での音楽教育の普及

現地に日本人教育者を派遣して現地教育者人材育成をしております。

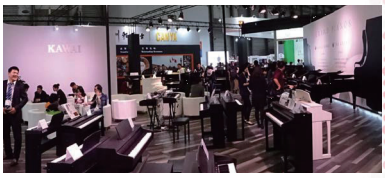
先進国での音楽文化の継承

米国に直営店オープンによりピアノ文化の継承を図ってまいります。



中国での音楽文化の推進

中国楽器協会との調律技術の向上推進協力



ミュージックチャイナ2016出展

国内における展開

充実したカリキュラムと優れた指導によるピアノ生徒の拡大

国内では、営業体制を刷新し、教室・販売・アフターサービスを一体化した地域ユニット体制による営業活動を展開するとともに、中核都市への店舗戦略を進めていますが、本社のある浜松に直営店舗を開設しました。

教育関連事業は、重点戦略であるピアノコースの拡大や、教室の新設、運営効率の改善などを実施いたします。

心とからだのハーモニーをモットーに全年齢層の健康づくりをサポートします

カワイ健康づくりシステム

少子高齢化・人口減少時代を迎え、健康づくりの重要性はますます高まっています。カワイ体育教室開設以来50年のキャリアを持つカワイならではのノウハウを生かし、子どもから、大人、高齢者までそれぞれのステージに合わせた健康づくりをサポートしています。

【カワイ体育教室はおかげさまで創設50周年です】

【体育教室が重要視する3つの要素】

【カワイ体育教室活動の様子】

上のQRコード又は下記URLからご覧いただけます。

http://kawaihealth.jp/sports/qr/

体育コース

子どもの遊びは、からだの面、こころの面、知的な面を育てるために大切なものです。しかし近年、遊びの中で知恵を出し合ったり、感情をぶつけ合う機会が減少していると言われます。カワイ体育教室はこのような子どもたちが、のびのびとからだを動かして遊ぶための環境づくりをサポートいたします。

スポーツコース

器械体操・新体操・サッカーなどスポーツの基礎を身につけるコースです。技術だけではなく、ルールを学び、人とのコミュニケーションを学べるコースで一人ひとりの能力や、からだの発達と発育を考慮した指導を行っています。

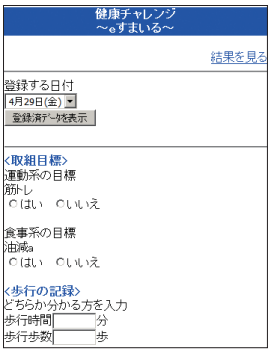
カワイネットシステム

ネットパル

体育教室と家庭をモバイルを使ってリアルタイムに結び「危機管理体制の充実」「運動の習慣化（生徒の日常の運動をサポート）」「家族の健康づくり」を実現します。

モバイルヘルスアップツール

携帯電話やパソコンの「双方向性機能」「情報処理機能」を使ってウォーキングや健康管理をサポートします。日常の健康づくりを支援しメタボリックシンドロームの改善に最適です。



介護予防事業の支援

厚生労働省の指針に沿って運動器の機能向上を中心とした高齢者の生活支援を行います。東京都健康長寿医療センターの指定事業者として、介護予防運動指導員養成セミナーを行い、指導者の育成を行っています。カワイは認知機能低下予防に有効なプログラム（音楽・絵画造形）も有しており、すべての高齢者に向けた介護予防事業を展開しています。

カワイの認知症予防プログラム　～運動・音楽・脳げんき～

コミュニケーション

有酸素運動

知的活動

スポーツコミュニティ

カワイ体育教室はトップアスリートと交流する場を提供する「スポーツコミュニティ」を展開しています。カワイ体育教室では、全年齢の健康を考える『総合健康産業』として、子どもから大人・高齢者までさまざまなステージでの健康づくりに関わっています。これまでは、カワイ体育教室に参加する生徒を対象とした活動が中心でしたが、今後は多くの子どもたちにトップアスリートの生の声や演技を伝えることで運動への興味関心とスポーツへの参加意欲を高め、運動習慣を獲得して生涯スポーツへとつなげる活動を展開していきます。将来的には、公的な施設等にも活動の場を広げ、より多くの子どもたちがトップアスリートと接する機会がもてるよう展開していきます。

カワイ体育教室 スタッフ紹介

チーフアドバイザー　　水鳥 寿思 さん

2004 年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリストで、2012 年 5 月に現役を引退し、カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。

新体操クラス
チーフインストラクター　川本 ゆかり さん

1992 年バルセロナオリンピック出場。2009 年よりカワイ体育教室の新体操クラスのチーフインストラクターとして、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。スポーツコミュニティも担当しています。

カワイカップ

器械体操・新体操・サッカーの全国大会です。年に一度全国の仲間とコミュニケーションを図り、楽しくしかし真剣に子どもたちが自分の実力を試す場となっています。

コミュニケーション

地域社会の発展と環境の向上に役立つ活動を積極的に推進しています

地域社会との共生

工場見学の受け入れ

＜竜洋工場＞

竜洋工場では、カワイピアノに親しんでいただくために、地域の小中学生・高校生・大学生その他多くの方々の見学を受け入れています。グランドピアノ組立からピアノが完成するまでの仕上工程をご覧いただくことができます。

見学後、小学生をはじめたくさんのお礼のお手紙をいただきました。「真剣な顔の職人さんを見て、これからも家のピアノをきれいに使いたい。」「1台のピアノができるまでに何人もの職人の手作業がある。」など嬉しい感想をいただいています。

海外から見えるお客様も多く、国内外のピアニストの方々にもご見学いただいています。

〔工場のご見学に関するお問い合わせ〕　竜洋工場　業務室　静岡県磐田市飛平松252
TEL.0538-66-5111　FAX.0538-66-5919

見学者から届いたお手紙 (竜洋工場)

＜(株)カワイハイパーウッド＞

今年も近隣の小学生の工場見学を行いました。

車の部品製造工程や塗装工程の説明会・工場見学会を通して「仕事の大変さ、お金を稼ぐことの大変さがわかり、両親に感謝したい」という感想を御礼のお手紙とともにいただきました。少しでも会社のことを知っていただくために、カワイハイパーウッドでも毎年実施していきたいと考えています。

工場見学の様子

献血運動

カワイハイパーウッドでは2016年7月静岡グランシップにて長年の献血活動が顕著であるとして、日本赤十字社から銀色有功章をいただきました。また、PTインドネシアでも工業団地で献血をしています。

インドネシア

ハイパーウッド表彰

環境美化・保全活動

環境方針に基づいた具体的活動として、敷地内のみならず、事務所周辺の側溝・道路や海岸の清掃活動などを通じて、地域社会へのつながりを大切に、当年度も環境美化保全活動を実施しております。地域の美化・環境保全に全員で継続して取組んでまいります。

本社

カワイハイパーウッド

カワイ精密金属松本工場
団地内清掃活動

PT カワイインドネシア

カワイキャスティング
羽咋市海岸清掃活動

各サイトそれぞれにおいて、地域社会へ参画しています

地域社会との交流

ＰＴ.カワイインドネシア

色々な形で地域社会と関わっています。

カラワン工業団地スポーツ大会参加

インド大成工業団地文化祭り参加

ジャカルタ絆駅伝参加

2016.Nov. 洪水に遭った人たちの救済

河合楽器（寧波）有限公司

中国にある寧波有限公司では、全員の親睦を深める為、毎年スポーツ大会を実施しております。今年は長縄飛び、ボールリレーなど種類を増やして実施し、各組より選ばれた若い力がトーナメントを勝ち抜いて戦いました。また、近郊の上帽山に出かけてみんなで中国特有の“野飯”を行ないました。日頃できない、コミュニケーションを図っています。

(株)カワイハイパーウッド

カワイハイパーウッドでは、毎年、地元住民の皆様と社員との“ふれあい”を目的として、コンサートを開催しています。例年は工場内の特設会場で行っていましたが、2016年の記念すべき10回目のコンサートから浜北文化センターでの開催となりました。

第１部は中桐望さんによるピアノ演奏、第2部は畑中摩美さんによるギターによる弾き語りでした。素敵な時間を過ごしました。第3部は恒例の中郡中学校吹奏楽部の皆さんによる元気あふれる一生懸命な演奏が実施されました。

当日は近隣の皆様はじめカワイグループOBの方々大勢に来場いただきました。さらに、東日本大震災による東北復興支援植樹のための募金に温かい心遣いをたくさんいただきました。皆様からお預かりした善意の募金は、カワイの森育成会を通して5月13日の宮城県仙台市荒浜地区で実施した海岸防災林「カワイの森」の植樹活動に活用させていただきました。

KAWAI HyperWood “2017 Hureai-Concert”

上海カワイ電子有限公司

こちらも中国の上海カワイ電子です。2012年から生産を開始してカワイの電子楽器を組立生産しております。インドネシアに続いて電子楽器の2つ目の海外工場で、中国を中心に日本にも輸出しております。休日のひと時、上海から約130Km離れた無錫の中央电视台影视基地（映画村）に行き、道中を含め大変賑やかで楽しい時間を過しました。各社員がグループを越えてお互いに写真を取り合うなど、普段とは異なる一面も垣間見え、親睦を深める上でとても有意義な一日となりました。

お客様に愛され、親しまれるカワイを目指して

情報発信

ＣＳ（顧客満足）への取り組み

〈お客様相談室〉

楽器購入前のご相談、購入後の楽器のご使用方法に関するご相談等、お客様から寄せられる様々なご質問に誠実で迅速な対応を行うべく、お客様相談室で受付を行っております。音楽を愛する専門スタッフが皆様にとってかけがえのないパートナーを目指してサービスに努めております。

お客様相談室　TEL : 053-457-1311

受付時間：月曜日から金曜日までの 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00

〈お客様サポートサイト〉

カワイお客様サポートサイトでは、ピアノの修理や調律、各種製品の修理、関連楽譜の購入などのアフターサービス、カタログや取扱い説明書、プログラム更新等の各種データのダウンロード、カワイピアノ、デジタルピアノ等のカタログ請求や試弾のご予約、見積依頼のためのサポートサイトをホームページ上に設けてサービスに努めております。

http://www.kawai.jp/support/

アフターサービスの実施

「ピアノは生きています」というと驚かれるでしょうが、ピアノには木材・羊毛・皮革など多くの天然素材が使われています。

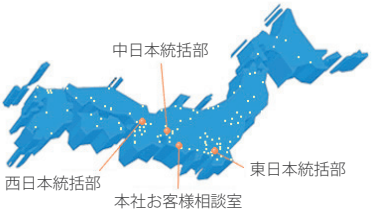
これらの材料はとても敏感で、温度や湿度の影響をまともに受けてしまうのです。ピアノの大部分を占める木材やハンマーのフェルトは常に呼吸をしている、まさに“生命体”であり、ピアノは大変デリケートなメカニズムを持つ楽器でもあります。そこで私達が健康管理をするようにピアノにも“調律”という名のメディカルチェックが必要なのです。カワイの調律師たちは厳しい訓練を受けた技術者で、ピアノの主治医として、ピアノを常にベストコンディションに保つためのケアをしています。

世界有数のアフターサービス網

約200名の調律師が直営ネットワーク（日本全国108拠点）に配置され、全国津々浦々のお客様の大切なピアノのアフターサービスに従事しています。全てカワイの社員です。入社後も、数々の技術研修制度により技術の研鑽に努め、お客様のご希望にお応えします。さらに、コンサート会場でのピアノ調律を担当するMPA*は、国内外のコンクールやコンサートの場面でアーティストのハイレベルなご要望にもお応えしております。

* MPA: Master Piano Artisan (マスターピアノアーティザン：社内資格)

（調律担当部門）　国内統括部 調律推進課　TEL : 053 -457 -1256



ピアノメンテナンスを通じた社会貢献

カワイは、ピアノの調律の啓発や技術の向上を目的とした団体である（一社）日本ピアノ調律師協会（通称ニッピ）の主旨に賛同し、その活動に協力しています。

日本ピアノ調律師協会は、ピアノを国民の芸術的財産として位置づけ、その運営管理を行なうことにより社会道徳的要請に応えるべく、会員資質の向上、調律技術者の社会的信用の維持向上に取り組んでいます。カワイでは調律技術者のほとんどがニッピの会員です。

資料編

環境負荷サイト別一覧

				参考	基準年					
				1990	2012	2013	2014	2015	2016	基準年比
竜洋工場 静岡県磐田市 （旧舞阪工場を含む） 事業内容：ピアノ製造 敷地面積：168,218㎡	INPUT	電気	GJ	101,341	58,667	58,564	57,599	59,759	**57,787**	-3.3%
		燃料	GJ	28,253	17,220	16,047	18,352	16,091	**17,861**	11.0%
		水	千㎥	3,330.0	37.0	38.0	33.5	36.0	**35.6**	-1.2%
		化学物質	ton		43.6	38.6	33.1	38.9	**36.8**	-5.4%
	OUTPUT	CO_2 排出量	ton-CO_2	7,632	3,894	3,806	3,590	3,551	**3,553**	0.0%
		化学物質	ton		8.8	5.4	5.0	6.3	**6.0**	-4.8%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	437.3	7.8	9.2	6.3	0.2	**0.3**	62.7%
		廃棄物 再資源化	ton	102.0	730.6	767.0	697.9	767.8	**823.2**	7.2%
カワイ精密金属㈱浜松工場 静岡県浜松市北区新都田 事業内容：金属部品製造 敷地面積：26,817㎡	INPUT	電気	GJ	2008年より稼働	35,556	44,160	53,432	57,647	**63,386**	10.0%
		燃料	GJ		7.4	7.1	17.8	21.1	**21.9**	3.9%
		水	千㎥		22.1	26.0	27.1	24.0	**28.5**	18.5%
		化学物質	ton		11.1	14.2	14.4	1.8	**3.0**	66.7
	OUTPUT	CO_2 排出量	ton-CO_2		1,623	2,016	2,440	2,632	**2,894**	10.0%
		化学物質	ton		9.0	13.0	8.1	0.0	**3.0**	増加
		廃棄物 焼却・埋立	ton		21.2	23.2	30.8	1.4	**0.0**	-100.0%
		廃棄物 再資源化	ton		19.3	35.2	28.8	56.7	**58.3**	2.9%
カワイ精密金属㈱松本工場 長野県松本市 事業内容：金属部品製造 敷地面積：14,612㎡	INPUT	電気	GJ	57,070	30,391	34,838	42,514	42,985	**42,748**	-0.6%
		燃料	GJ	7,132	4,009	4,791	5,270	4,109	**5,393**	31.2%
		水	千㎥	42.1	81.7	92.4	95.2	73.3	**72.3**	-1.3%
		化学物質	ton		31.4	34.0	37.7	32.9	**39.5**	20.1%
	OUTPUT	CO_2 排出量	ton-CO_2	3,674	1,671	1,909	2,313	2,252	**2,333**	3.6%
		化学物質	ton		20.1	25.0	27.9	23.7	**30.6**	29.1%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	0.0	9.2	12.3	13.5	1.6	**2.2**	37.5%
		廃棄物 再資源化	ton	61.4	53.9	14.8	16.2	11.7	**19.4**	65.5%
㈱カワイキャスティング 石川県羽咋市 事業内容：銑鉄鋳物の製造及び販売 敷地面積：41,000㎡	INPUT	電気	GJ		69,692	65,440	65,816	62,918	**70,178**	11.5%
		燃料	GJ		36,987	28,348	30,359	29,113	**33,656**	15.6%
		水	千㎥							
		化学物質	ton		15.4	17.3	19.7	19.4	**22.8**	17.5%
	OUTPUT	CO_2 排出量	ton-CO_2		7,855	5,915	6,100	5,843	**6,634**	13.5%
		化学物質	ton		2.3	2.1	1.4	2.0	**1.9**	-5.0%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		1,347.3	995.3	690.5	518.3	**349.7**	-32.5%
		廃棄物 再資源化	ton		863.0	523.7	731.8	752.4	**854.6**	13.6%
㈱カワイハイパーウッド 静岡県浜松市東区中郡町 事業内容：自動車内装部品製造 敷地面積：15,074㎡	INPUT	電気	GJ	14,787	16,306	15,674	14,759	15,799	**15,084**	-4.5%
		燃料	GJ	11	4,548	3,319	3,584	3,636	**3,595**	-1.1%
		水	千㎥	28.6	6.6	6.2	4.4	4.3	**3.6**	-17.6%
		化学物質	ton		25.6	22.9	21.2	21.0	**16.1**	-23.3%
	OUTPUT	CO_2 排出量	ton-CO_2	1,250	1,066	950	927	979	**943**	-3.6%
		化学物質	ton		0.8	0.7	0.6	0.6	**0.5**	-18.3%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	218.2	0.2	0.0	0.0	0.0	**0.0**	
		廃棄物 再資源化	ton	32.3	144.1	127.1	119.7	131.4	**117.6**	-10.5%
㈱カワイ音響システム 静岡県浜松市東区篠ケ瀬町 事業内容：防音室・音響部材の製造 敷地面積：2,972㎡	INPUT	電気	GJ	2008年より稼働	943	990	958	969	**920**	-5.1%
		燃料	GJ		0.0	0.0	0.0	0.0	**0.0**	
		水	千㎥		0.0	0.2	0.1	0.1	**0.2**	64.7%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO_2 排出量	ton-CO_2		43	45	44	44	**42**	-5.1%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		0.0	0.0	0.0	1.7	**3.3**	100.0%
		廃棄物 再資源化	ton		3.1	4.6	7.6	7.3	**11.4**	55.6%
本社 静岡県浜松市中区寺島町 事業内容：本社機能、研究開発 敷地面積：6,784㎡	INPUT	電気	GJ		8,989	7,189	5,864	5,651	**5,827**	3.1%
		燃料	GJ		546	641	564	343	**26**	-92.5%
		水	千㎥		4.4	4.4	4.5	4.1	**3.6**	-11.0%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO_2 排出量	ton-CO_2		448	374	307	282	**267**	-5.1%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		11.6	12.2	4.2	4.4	**4.5**	2.4%
		廃棄物 再資源化	ton		14.0	20.9	28.6	22.9	**24.1**	5.3%

第三者意見

東京工業大学 環境・社会理工学院 教授

中崎 清彦　先生

本報告書にはカワイグループの事業活動にともなう環境報告、社会性報告が適正にまとめられている。2016年度は、企業価値の向上と、長期的な安定成長を目指すことを基本方針とする中期経営計画「Resonate2018」（2016年度－2018年度）が始まった。ピアノコンクールの演奏に優れた性能のピアノを提供したことからもわかるハード面の優位性と、海外展開も含めた教育事業の幅広い取り組みというソフト面の充実の両方に、活発な事業活動をみることができ、「100年ブランドの確立」を見据えた取り組みが順調に進んでいることがわかる。

また、CSR（企業の社会的責任）活動としては、音楽を通じた社会貢献であるチャリティコンサート、および「カワイの森」の活動が国内外で長く継続されていることに大きな意義がある。国内では東日本大震災被災地の復興支援、インドネシアでは植林が10年におよび、これまでに、450ha、46万本もの植林の実績を積上げてきている。「木」、「森」、「みどり」というカワイグループの環境に配慮した企業イメージと密接に関連したキーワードにそって、企業が社会的な責任を果たそうとする熱心な取り組みが伝わってくるものとなっている。

2017年度版の本報告書から、2012年12月にグループ会社となった（株）カワイキャスティング、およびその他のグループ会社のデータもあわせて過去にさかのぼった環境関連データをまとめている。このため、環境活動におけるカワイグループ全体の取り組みがわかりやすく示された報告書となっている。環境負荷低減については、CO_2排出量、エネルギー使用量、産廃排出量を原単位で前年比 -1%としていた今年度の目標を達成できていないが、これは、グループ企業各社の生産数量、加工内容、使用する設備等が変化したためである。生産の仕組みが新しく変わったときに、それまでに計画していた削減目標を一時的に満たさないことは当然おこりうる。それをもって、落胆する必要はない。新たな仕組みの中で新たな合理的目標を設定し、PDCA（計画、実行、評価、行動）のサイクルを廻して環境負荷を低減する不断の取り組みの意欲に変えていくことが重要である。これこそが、報告書をまとめる最も重要な目的ということができる。

カワイグループは、河合楽器製作所の創立から本年度で90周年になる。これまでのおこなってきた、環境、社会に配慮した事業活動の真摯な取り組みをさらに継続し、PDCAサイクルを廻してさらなる改善に取り組むことで、カワイグループは「100年ブランドの確立」に向けて一層の発展をとげるものと期待される。

第三者意見を受けて

昨年度に続き、東京工業大学 環境・社会理工学院 中崎清彦先生より専門家としてのお立場から広い視野に立った第三者意見を賜ることができました。厚く御礼申し上げます。

その中で、ちょうど 10 年前の創業 80 周年事業として始めたカワイの森育成会活動によるインドネシアでの植林や日本国内での植樹、東日本大震災復興支援チャリティーコンサートなどの楽器メーカーならではの CSR 活動の継続性をご高評いただけたことは大変喜ばしく、今後もさらに積極的に推進してまいりたいと考えます。

事業を通じたエネルギー使用量、CO_2 排出量などの環境負荷の低減につきましては、今後の課題が多くありますが、今回のご意見を参考にして、さらに努力を続けてまいります。

今後も地球環境の保全活動、文化貢献活動を一層推し進め、「カワイブランド」の価値の向上と持続可能な社会の実現に寄与できるよう環境活動の PDCA サイクルを実施してまいります。

（カワイ地球環境委員会 事務局）

最後までお読みいただきましてありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、
下記アンケートにご記入の上、恐れ入りますが、この頁をＦＡＸまたは郵送して頂ければ幸いです。

カワイ 環境社会報告書 2017 へのご意見・ご感想

該当項目の□にチェックをお願いします。

Q1　環境社会報告書をどのようなお立場でお読みになられましたか？

□ 投資家・株主として　□ 河合楽器と取引関係にある　□ カワイグループの従業員・家族
□ 政府・行政機関　□ 環境NGO・NPOとして　□ 報道機関
□ 企業の環境担当者　□ 学生　□ 環境専門家・教育者・研究者
□ 事業所近隣の方　□ 製品のユーザー　□ その他（　　）

Q2　環境社会報告書を何でお知りになりましたか？

□ ウェブサイト（カワイ・カワイ以外）　□ 環境セミナー等で　□ 新聞・雑誌
□ 営業マン・教室・先生から　□ その他（　　）

Q3　この環境社会報告書をお読みになってどのようにお感じになりましたか？

・報告書のわかりやすさ	□ よくわかる	□ 普通	□ わかりにくい
・内容	□ 充実	□ 普通	□ 物足りない
・情報量	□ 多すぎる	□ 適切	□ 不足である

Q4　興味をもたれた記事、印象に残った項目は？（いくつでも）

◎企業概要
- □ 表紙
- □ 編集方針
- □ トップメッセージ
- □ カワイグループの事業と会社の概要
- □ 経営の理念・行動指針
- □ カワイグループのあゆみ
- □ 音楽を通じた支援活動

◎ 環境報告
- □ カワイの環境への取り組み
  - □ 地球環境憲章・環境方針・環境推進組織
- □ 環境経営
  - □ 2016年度の環境目標と実績
- □ 事業活動に伴う環境配慮
  - □ 地球温暖化の防止
  - □ 製品の環境負荷（LCA）
  - □ 廃棄物削減・再資源化
  - □ グリーン調達
- □ 環境配慮型製品
  - □ ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵
  - □ 省電力型デジタルピアノ
  - □ 防音ルーム
- □ 環境パフォーマンス
  - □ マテリアルバランス

◎社会性報告
- □ コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス
- □ コーポレート・ガバナンス　体制／内部統制システム
- □ リスク管理体制
- □ 株主・投資家の皆様とともに
- □ みなさまとの関係
  - □ 文化貢献活動
  - □ 教育事業
  - □ カワイ健康づくりシステム
  - □ スポーツコミュニティ
- □ コミュニケーション
  - □ 地域社会との共生
  - □ 地域社会との交流
  - □ 情報発信

◎資料編
- □ 環境負荷サイト別一覧
- □ 第三者意見
- □ アンケートのお願い

Q５　環境社会報告書の内容についてのご意見や、改善するためのご提言をいただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下欄にご記入願います。（個人情報に関しましては、ご本人の承諾がない限り第三者に開示することは一切ございません）

お名前	ふりがな
	男・女　年齢　　歳
ご住所 （勤務先・ご自宅）	〒　　－
ご連絡先	TEL　　FAX E-mail
ご職業 （勤務先・部署・役職名）	

FAX　０５３－４５７－１３００

〒430-8665　浜松市中区寺島町200番地　株式会社 河合楽器製作所 総務人事部 CS環境室 行

株式会社 河合楽器製作所
お問合せ先
カワイ地球環境委員会
事務局：総務人事本部ＣＳ環境室
〒 430-8665　静岡県浜松市中区寺島町 200 番地
TEL= 053-457-1252　FAX= 053-457-1300
URL= http://www.kawai.co.jp

古紙パルプ配合率70％再生紙を使用
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。